

資料 4－2

別 紙

地域間幹線系統に係る  
地域公共交通確保維持事業の詳細  
  
(素案)

令和5年（2023年）6月

熊本県地域公共交通協議会

## 地域間幹線系統に係る地域公共交通確保維持事業の詳細 記載事項

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性	P1
2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果及びその評価手法・測定方法	P3
3. (表1) 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者	P5
4. (表2) 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額	P7
5. (表3) 別表1の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧	P14
6. (表4) 同一の補助対象系統として取り扱うことを協議会が特に認めた運行系統の範囲について	P15
7. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項	P16
8. 外客来訪促進計画との整合性	P21
9. 車両の取得に係る目的・必要性	P23
10. 車両の取得に係る定量的な目標・効果	P24
11. (表5) 車両の取得計画の概要	P25
12. (表6) 車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額	P26
13. 協議会の開催状況と主な議論	P28
14. 協議会メンバーの構成（熊本県地域公共交通協議会）	P29
(添付資料)	
・運行予定系統を示した地図	

## 1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

熊本県内の地域公共交通は、人口減少等の影響により、利用者数の減少や、それに伴う交通事業者の収支悪化・自治体負担の増加に歯止めがかからない状況が長く続いてきたほか、近年では、運転手不足をはじめとする供給面の課題も顕在化している。

このような状況を受け、熊本県地域公共交通計画では、「持続可能な幹線公共交通ネットワークの構築」を目標の一つとして定め、各地域拠点を複数連絡する路線バスのうち一定の輸送量を有する路線バスについては、国、県による支援を中心に維持・確保を図ることとしている。

今回、認定申請する幹線系統については、地域公共交通確保維持事業を活用し赤字額を補填することで、系統の維持を図り、地域住民の通勤、通学、通院及び買物等に必要な生活交通手段を確保するものである。

系統ごとの目的及び必要性については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	現状の利用目的	路線維持の必要性
1	1 熊本バス(株)	直行線	山都町方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	熊本市・嘉島町・御船町から矢部高校への通学、御船町・山都町から御船高校・熊本市内の高校への通学、熊本市内や御船町の病院への通院、市内への買物、通勤等の手段として必要である。
2	2 熊本バス(株)	砥用線	美里町・砥用方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	美里町・甲佐町から甲佐高校までの通学、美里町・甲佐町・嘉島町住民の熊本市内の病院への通院、買物、通勤、通学等の手段として必要である。
3	3 熊本バス(株)	辺場・甲佐線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	甲佐町・御船町・嘉島町からの熊本市内への通勤、通学、買物、通院の手段として必要である。
4	4 熊本バス(株)	御船・甲佐線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	御船高校・甲佐高校や熊本市内の高校までの通学、甲佐町・御船町・嘉島町の住民等の熊本市内等への通院、通勤、買物の手段として必要である。
5	5 熊本バス(株)	健軍・砥用線	美里町・砥用方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	美里町・甲佐町・御船町・嘉島町の住民の熊本市内の高校等への通学および通勤、通院、買物などの手段として必要である。
6	6 熊本バス(株)	健軍線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	熊本市・嘉島町・御船町の住民の御船高校・甲佐高校までの通学、甲佐町・御船町・嘉島町から熊本市内の高校への通学および通勤、通院、買物の手段として必要である。
7	7 熊本バス(株)	健軍・イオン線	熊本市街地から東区役所への利用	沿線住民の買物、通勤、通学の足としてだけでなく、乗継拠点である健軍電停・イオンモール熊本を結ぶ交通手段として必要である。
8	8 熊本バス(株)	宇土線	熊本市街地および城南地区から宇土市への通学利用	熊本市内への通勤・通学のための路線として、また、JR宇土駅での乗継利用とともに、城南地区の生活路線として、買物のための交通手段としても必要である。
9	9 熊本バス(株)	松橋線	熊本市街地および城南地区から松橋地区への通勤・通学利用	熊本市内への通勤・通学のための路線であり、主に支援学校、松橋高校生の通学として使用されている。また、JR松橋駅での乗継利用とともに、城南地区の生活路線として、買物のための交通手段としても必要である。
10	10 熊本バス(株)	画図線	城南地区から熊本市街地の学校への通学利用および通勤・通院・買物等の利用	城南町・嘉島町から熊本市内の高校（九州学院等）までの通学、また住民の県庁、市役所までの通勤・通院および買物用として必要である。
11	11 熊本バス(株)	乙女線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	熊本市・嘉島町の住民のくまもと南部広域病院までの通院・通勤、甲佐町住民の熊本市内への通院、通勤、買物、甲佐町学童の乙女小学校までの通学、火の君文化センターの利用者の交通の手段として必要である。
12	12 熊本バス(株)	中病・イオン線	熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	沿線住民の熊本市街地への通勤、通学、通院、買物等への交通手段として、また、イオンモール熊本を乗継拠点として、沿線に所在する学校や病院、商店への足として必要である。
13	13 熊本バス(株)	江津・イオン線	江津住宅地から熊本市街地間の通勤・通学・買物等の利用	熊本市・江津住宅地からの住民の通勤、通学、買物の手段だけでなく、乗継拠点であるイオンモール熊本への交通手段として必要である。
14	14 熊本バス(株)	セイラ・イオン線	セイラ住宅地から熊本市街地間の通勤・通学・買物等の利用	熊本市・セイラ住宅地からの住民の通勤、通学、買物の手段だけでなく、乗継拠点であるイオンモール熊本への交通手段として必要である。
15	15 熊本バス(株)	城南・志導寺線	城南地区から熊本市街地への通勤・通学・買物等の利用	城南地区から熊本市中心部への通勤・通学・通院・買物等の生活路線として維持していく必要がある。
16	16 熊本バス(株)	健軍電停・イオン線	嘉島方面から熊本市街地への乗継拠点（健軍電停）への通勤・通学・買物等の利用	嘉島方面から熊本市街地へ通勤・通学・買物等の利用のため、交通結節点である健軍電停への交通手段として必要である。

番号	事業者名	系統名	現状の利用目的	路線維持の必要性
17 17	熊本バス(株)	田迎・城南線	城南地区から熊本市街地への通勤・通学・買物等の利用	城南地区から熊本市中心部への通勤・通学・通院・買物等の生活路線として維持していく必要がある。
18 1	産交バス(株)	健軍・東無田経由 熊本・御船線	御船方面から熊本市街地への通勤・通学・通院・買物利用	御船方面から熊本市街地への通勤・通学・通院・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
19 2	産交バス(株)	河内経由 熊本・小天線	河内方面から熊本市街地への通院・通学利用	河内方面から熊本市街地への通院・通学に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
20 3	産交バス(株)	植木・大倉経由 熊本・玉名線	相互間においての通院・通学・買物の利用	相互間においての通院・通学・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
21 4	産交バス(株)	菊池経由 山鹿・大津線	相互間において、通院・通学・買物などの利用	相互間において、通院・通学・買物などに利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
22 5	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港経由 本渡・富岡線	富岡方面から天草市街地への通学・通院・買物などの利用	富岡方面から天草市街地への通学・通院・買物などに利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
23 6	産交バス(株)	セントラル病院経由 本渡・鬼池線	鬼池方面からの通学・通院・買物での利用及び起終点のフェリー接続	計画輸送量が15人未満であるが、鬼池方面からの通学・通院・買物での利用及び起終点のフェリー接続に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
24 7	産交バス(株)	一町田中央・久玉経由 本渡・牛深線	相互間において、通院・通学・買物などの利用及び熊本市内方面との接続	計画輸送量が15人未満であるが、相互間において、通院・通学・買物などの利用及び熊本市内方面との接続に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
25 8	産交バス(株)	桜山経由 玉名市役所・荒尾線	相互間においての通院・通学・買物の利用	相互間においての通院・通学・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
26 9	産交バス(株)	堅志田経由 松橋・砥用線	砥用方面からの通院・通学利用	計画輸送量が15人未満であるが、砥用方面からの通院・通学に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
27 10	産交バス(株)	日奈久経由 八代・田浦線	相互間においての通院・通学・買物の利用	相互間においての通院・通学・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
28 11	産交バス(株)	道尻経由 阿蘇環状線	阿蘇市内においての通院・通学の利用	阿蘇市内においての通院・通学に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
29 12	産交バス(株)	テクノ団地経由 熊本・高森線	高森・南阿蘇方面から熊本市内方面への通学・通勤利用	高森・南阿蘇方面からの通学・通勤に利用されている路線であり、住民の生活交通手段の存続をさせていくことが必要である。
30 1	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	合志市から菊陽町を通り熊本市への通勤・通学・買物などの利用	合志市、菊陽町、熊本市の沿線住民の通勤・通学の足として、また尚綱大学武蔵ヶ丘キャンパスに通う学生に利用されており存続させていくことが必要である。
31 1	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	南関町、荒尾市・庄山地区及び大牟田市南東部住民の通勤、通学、買物等の利用	計画輸送量が15人未満であるが、櫛野地区等の大牟田市南東部地域唯一の公共交通であり、南関町南部から乗継により大牟田市へ向かう唯一の公共交通であるため、生活交通手段として存続させることが必要である。
32 2	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	南関町及び大牟田市北東部住民の通勤、通学、買物等の利用	新大牟田駅に接続する唯一の公共交通であり、上内校区等の大牟田市北東部地域唯一の公共交通、南関町北部から大牟田市へ向かう唯一の公共交通、沿線の上内小学校学童のバス通学手段であることから、存続させることが必要である。
33 3	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～久福木団地	荒尾市及び大牟田市住民の通勤、通学、買物等の利用	当該路線については、大牟田市と熊本県荒尾市の2市を跨いで運行し、JR大牟田駅、西鉄大牟田駅、JR荒尾駅と接続しており、沿線住民の日常生活に必要不可欠な交通手段となっているため、幹線として維持することが妥当である。
34 4	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～三池中町	荒尾市及び大牟田市住民の通勤、通学、買物等の利用	当該路線については、大牟田市と熊本県荒尾市の2市を跨いで運行し、JR大牟田駅、西鉄大牟田駅、JR荒尾駅と接続しており、沿線住民の日常生活に必要不可欠な交通手段となっているため、幹線として維持することが妥当である。
35 1	南国交通(株)	水俣線 (佐潟口・水俣車庫線)	阿久根市、出水市、水俣市間の広域交通手段	左記市間の広域交通手段、特に阿久根市、出水市の商業施設への買い物、水俣市立医療センターへの通院、出水市内立地の5高校への通学手段として必要である。

## 2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果及びその評価手法・測定方法

本計画における定量的な目標は、ダイヤの見直し等により利便性の向上を図り、当該年度1日当たりの輸送量を確保すること、及び効率的な運行を実施することで、行政負担額の縮減と事業者の収益性の向上を図ることとする。系統ごとの目標は以下のとおりである。

事業の効果として、地域間幹線バス系統を維持することにより、広域行政圏の周辺部から中心部への移動手段を持たない人のための生活交通手段を確保することが期待できる。

その評価手法及び測定方法は、事業者からの提供データを基に、各年度において現状値に対する増減の状況の評価する。

番号	事業者名	系統名	1日当たりの輸送量（人）		行政負担額（千円） （国、県、市町村による補助額の合計）		収支率（％） （生産性向上の取組の数値目標）		
			R4年度実績	R6年度目標値	R4年度実績	R6年度目標	R4年度実績	R6年度目標	収支改善率
1	1 熊本バス(株)	直行線	31.2 人	30.0 人	42,128	43,288	48.47%	49.17%	0.70%
2	2 熊本バス(株)	砥用線	21.4 人	18.4 人	25,551	22,025	44.91%	45.64%	0.73%
3	3 熊本バス(株)	辺場・甲佐線	24.1 人	23.7 人	13,057	14,762	56.29%	57.09%	0.80%
4	4 熊本バス(株)	御船・甲佐線	29.6 人	30.7 人	20,301	20,879	52.04%	52.77%	0.73%
5	5 熊本バス(株)	健軍・砥用線	21.8 人	17.7 人	25,563	20,283	47.35%	48.14%	0.79%
6	6 熊本バス(株)	健軍線	36.5 人	40.3 人	19,490	23,020	56.10%	56.87%	0.77%
7	7 熊本バス(株)	健軍・イオン線	25.5 人	15.6 人	14,539	9,594	48.32%	49.16%	0.84%
8	8 熊本バス(株)	宇土線	16.9 人	16.4 人	4,067	5,037	68.12%	69.11%	0.99%
9	9 熊本バス(株)	松橋線	18.4 人	18.8 人	7,649	9,117	58.74%	59.58%	0.84%
10	10 熊本バス(株)	画図線	16.7 人	16.7 人	5,538	6,937	61.40%	62.28%	0.88%
11	11 熊本バス(株)	乙女線	22.4 人	20.1 人	20,392	20,016	44.23%	44.87%	0.64%
12	12 熊本バス(株)	中病・イオン線	49.6 人	39.3 人	6,777	7,163	67.99%	69.05%	1.06%
13	13 熊本バス(株)	江津・イオン線	66.8 人	45.3 人	8,847	8,714	78.75%	80.09%	1.34%
14	14 熊本バス(株)	セイラ・イオン線	34.2 人	37.0 人	7,735	9,880	63.48%	64.37%	0.89%
15	15 熊本バス(株)	城南・志導寺線	17.7 人	17.2 人	4,404	5,381	71.04%	72.07%	1.03%
16	16 熊本バス(株)	健軍電停・イオン線	11.2 人	17.5 人	5,590	9,404	40.86%	41.34%	0.48%

番号		事業者名	系統名	1日当たりの輸送量（人）		行政負担額（千円） （国、県、市町村による補助額の合計）		収支率（％） （生産性向上の取組の数値目標）		
				R4年度実績	R6年度目標値	R4年度実績	R6年度目標	R4年度実績	R6年度目標	収支改善率
17	17	熊本バス(株)	田迎・城南線	31.9 人	31.5 人	8,328	6,371	66.89%	67.85%	0.96%
18	1	産交バス(株)	健軍・東無田經由 熊本・御船線	14.9 人	15.0 人	17,068	17,068	37.75%	38.75%	1.00%
19	2	産交バス(株)	河内經由 熊本・小天線	38.2 人	37.9 人	22,268	22,268	48.63%	49.63%	1.00%
20	3	産交バス(株)	植木・大倉經由 熊本・玉名線	18.4 人	18.4 人	17,108	17,108	47.89%	48.89%	1.00%
21	4	産交バス(株)	菊池經由 山鹿・大津線	24.4 人	24.4 人	56,382	56,382	30.47%	31.47%	1.00%
22	5	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港經由 本渡・富岡線	22.5 人	15.1 人	69,231	69,231	24.89%	25.89%	1.00%
23	6	産交バス(株)	セントラル病院經由 本渡・鬼池線	10.2 人	15.0 人	22,792	22,792	22.16%	23.16%	1.00%
24	7	産交バス(株)	一町田中央・久玉經由 本渡・牛深線	11.8 人	15.0 人	98,415	98,415	18.72%	19.72%	1.00%
25	8	産交バス(株)	桜山經由 玉名市役所・荒尾線	27.3 人	27.1 人	32,005	32,005	38.17%	39.17%	1.00%
26	9	産交バス(株)	堅志田經由 松橋・砥用線	14.8 人	15.0 人	37,303	37,303	25.73%	26.73%	1.00%
27	10	産交バス(株)	日奈久經由 八代・田浦線	18.9 人	18.9 人	36,699	36,699	21.04%	22.04%	1.00%
28	11	産交バス(株)	道尻經由 阿蘇環状線	16.7 人	16.7 人	31,988	31,988	16.39%	17.39%	1.00%
29	12	産交バス(株)	テクノ団地經由 熊本・高森線	21.3 人	18.0 人	11,979	11,979	57.87%	58.87%	1.00%
30	1	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 （合志市役所）	24.4 人	24.4 人	442	436	76.24%	77.50%	1.26%
31	1	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	9.8 人	15.0 人	12,629	12,376	25.09%	27.09%	2.00%
32	2	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	36.9 人	36.9 人	33,726	33,051	37.26%	39.26%	2.00%
33	3	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～久福木団地	38.3 人	38.3 人	9,087	8,905	64.14%	66.14%	2.00%
34	4	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～三池中町	39.1 人	39.1 人	7,635	7,482	68.12%	70.12%	2.00%
35	1	南国交通(株)	水俣線 （佐潟口・水俣車庫線）	18.2 人	16.7 人	36,482	34,445	23.00%	25.20%	2.20%

3. (表1)地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域間幹線系統)

令和6年度

都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業に 要する国庫補助 額(千円)	特例 措置
熊本県	熊本バス(株)	(1) 直行線	11,982.5	
	熊本バス(株)	(2) 砥用線	5,051.0	
	熊本バス(株)	(3) 辺場・甲佐線	4,633.0	
	熊本バス(株)	(4) 御船・甲佐線	7,575.5	
	熊本バス(株)	(5) 健軍・砥用線	5,588.5	
	熊本バス(株)	(6) 健軍線	9,591.5	
	熊本バス(株)	(7) 健軍・イオン線	2,709.5	
	熊本バス(株)	(8) 宇土線	2,158.5	
	熊本バス(株)	(9) 松橋線	2,973.0	
	熊本バス(株)	(10) 画図線	2,419.5	
	熊本バス(株)	(11) 乙女線	5,555.5	
	熊本バス(株)	(12) 中病・イオン線	2,611.5	
	熊本バス(株)	(13) 江津・イオン線	3,807.0	
	熊本バス(株)	(14) セイラ・イオン線	3,357.0	
	熊本バス(株)	(15) 城南・志導寺線	2,242.0	
	熊本バス(株)	(16) 健軍電停・イオン線	1,671.5	
	熊本バス(株)	(17) 田迎・城南線	3,185.5	
	熊本バス(株)	計(17系統)	77,112	
	産交バス(株)	(1) 健軍・東無田経由 熊本・御船線	1,933.0	
	産交バス(株)	(2) 河内経由 熊本・小天線	7,646.0	

都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業に 要する国庫補助 額(千円)	特 例 措 置
	産交バス(株)	(3) 植木・大倉経由 熊本・玉名線	3,927.5	
	産交バス(株)	(4) 菊池経由 山鹿・大津線	6,858.0	
	産交バス(株)	(5) 手野・二江経由 本渡・富岡線	4,796.0	
	産交バス(株)	(6) 労働庁舎経由 本渡・鬼池線	648.0	
	産交バス(株)	(7) 一町田中央・久玉経由 本渡・牛深線	5,296.0	
	産交バス(株)	(8) 桜山経由 玉名市役所・荒尾線	4,723.0	
	産交バス(株)	(9) 堅志田経由 松橋・砥用線	2,187.5	
	産交バス(株)	(10) 日奈久経由 八代・田浦線	3,834.5	
	産交バス(株)	(11) 道尻経由 阿蘇環状線	1,629.0	
	産交バス(株)	(12) テクノ団地経由 熊本・高森線	7,629.0	
	産交バス(株)	計(12系統)	51,107	
	熊本電気鉄道(株)	(1) 377新地団地線 (合志市役所)	322.0	
	熊本電気鉄道(株)	計(1系統)	322	
	西鉄バス大牟田(株)	(1) 西鉄大牟田営業所～大牟 田市立病院・上町～庄山	4.5	
	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園 (2) 動物園前・大牟田市立病院・新 大牟田駅～南関町役場	1,211.5	
	西鉄バス大牟田(株)	(3) 荒尾駅～右京町～ 大牟田駅～久福木団地	353.0	
	西鉄バス大牟田(株)	(4) 荒尾駅～天領橋～大牟田 駅～高泉団地～三池中町	377.0	
	西鉄バス大牟田(株)	計(4系統)	1,946	
	南国交通(株)	(1) 水俣線 (佐潟口・水俣車庫線)	1,383.0	
	南国交通(株)	計(1系統)	1,383	
合計(35系統)			131,870	

4.（表2） 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	熊本バス株式会社	R6
------	----------	----

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間※)の 損益状況	乗合バス事業					R4
	営業収益	496,992千円	営業外収益	38,119千円	経常収益(イ)	535,111千円
	営業費用	819,413千円	営業外費用	7,650千円	経常費用(ロ)	827,063千円
	営業損益	△ 322,421千円	営業外損益	30,469千円	経常損益	△ 291,952千円
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	2,658,898.8 km				経常収支率	64.70 %

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業					R3
	営業収益	471,419千円	営業外収益	20,366千円	経常収益(イ)	491,785千円
	営業費用	840,466千円	営業外費用	7,589千円	経常費用(ロ)	848,055千円
	営業損益	△ 369,047千円	営業外損益	12,777千円	経常損益	△ 356,270千円
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	2,790,205.5 km				経常収支率	57.98 %

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業					R2
	営業収益	519,413千円	営業外収益	34,157千円	経常収益(イ')	553,570千円
	営業費用	834,826千円	営業外費用	9,852千円	経常費用(ロ')	844,678千円
	営業損益	△ 315,413千円	営業外損益	24,305千円	経常損益	△ 291,108千円
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	2,836,472.8 km				経常収支率	65.53 %

（補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ' ÷ ハ'' = a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ' ÷ ハ' = b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間) ロ ÷ ハ = c
南九州	297円.79銭	303円.93銭	311円.05銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3= ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常収益 イ ÷ ハ = ト
南九州	304円.25銭	314円.57銭	304円.25銭	201円.25銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

熊本バス株式会社

R6

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	運行 系統名	運行系統			計画運 行日数	計画運行回数 ( )	計画平均乗車 密度	計画輸 送量	系統キロ程		地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキロ 程	系統キロ程と地 域公共交通再編 事業を実施する 区域におけるキ ロ程との比率	補助ブロック外 乗入部分のキロ程	同一補助ブロック都道府県 外乗入部分のキロ程	他路線との競合 部分に係るキロ程	他路線との競合 率	補助ブロック外乗 入部分、同一補 助ブロック都道府 県外乗入部分及 び他路線との競 合部分以外のキ ロ程の比率					
				起点	主な 経由地	終点					チ	オ								オ÷チ=ク	リ	ヌ	ル	ル÷チ
							①＝カッコ内	②	①×② ＝③										(チー(リ＋ヌ＋ ル))÷チ＝ラ					
南九州	1		直行線	桜町 バスターミナル	御船	通潤山荘	366日	2,812.5回 (7.6回)	3.9	29.6人	往47.3km 復47.3km	(平均) 47.3km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	2		砥用線	桜町 バスターミナル	辺場	砥用 学校前	361日	2,037.5回 (5.6回)	3.3	18.4人	往33.8km 復33.8km	(平均) 33.8km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	3		辺場・甲佐線	桜町 バスターミナル	辺場	甲佐	366日	2,253.5回 (6.1回)	3.9	23.7人	往22.9km 復22.9km	(平均) 22.9km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	4		御船・甲佐線	桜町 バスターミナル	御船	甲佐	366日	2,976.0回 (8.1回)	3.8	30.7人	往25.1km 復25.1km	(平均) 25.1km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	5		健軍・砥用線	桜町 バスターミナル	健軍	砥用 学校前	361日	1,737.0回 (4.8回)	3.7	17.7人	往37.6km 復37.6km	(平均) 37.6km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	6		健軍線	桜町 バスターミナル	健軍	甲佐	366日	3,520.0回 (9.6回)	4.2	40.3人	往26.7km 復26.7km	(平均) 26.7km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	7		健軍・イオン線	桜町 バスターミナル	東区役所	イオン	361日	1,686.0回 (4.6回)	3.4	15.6人	往18.0km 復18.0km	(平均) 18.0km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	8		宇土線	桜町 バスターミナル	城南	宇土駅	294日	1,056.0回 (3.5回)	4.7	16.4人	往22.0km 復22.0km	(平均) 22.0km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	9		松橋線	桜町 バスターミナル	城南	松橋駅	294日	1,362.0回 (4.6回)	4.1	18.8人	往25.1km 復25.1km	(平均) 25.1km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	10		画図線	桜町 バスターミナル	画図	城南	361日	1,564.0回 (4.3回)	3.9	16.7人	往18.4km 復18.4km	(平均) 18.4km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	11		乙女線	桜町 バスターミナル	乙女	甲佐	361日	2,218.0回 (6.1回)	3.3	20.1人	往27.9km 復27.9km	(平均) 27.9km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	12		中病・イオン線	桜町 バスターミナル	中央病院	イオン	361日	3,487.0回 (9.6回)	4.1	39.3人	往12.2km 復12.2km	(平均) 12.2km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	13		江津・イオン線	桜町 バスターミナル	江津	イオン	366日	3,774.0回 (10.3回)	4.4	45.3人	往13.9km 復13.9km	(平均) 13.9km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	14		セイラ・イオン線	桜町 バスターミナル	セイラ タウン	イオン	366日	3,775.0回 (10.3回)	3.6	37.0人	往12.8km 復12.8km	(平均) 12.8km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	15		城南・志導寺線	桜町 バスターミナル	城南	志導寺	361日	1,324.0回 (3.6回)	4.8	17.2人	往19.5km 復19.5km	(平均) 19.5km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	16		健軍電停・イオン 線	健軍電停前	東区役所	イオン	366日	2,567.0回 (7.0回)	2.5	17.5人	往11.1km 復11.1km	(平均) 11.1km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
	17		田迎・城南線	桜町 バスターミナル	田迎	城南	366日	2,830.0回 (7.7回)	4.1	31.5人	往15.0km 復15.0km	(平均) 15.0km		(平均)			(平均)		(平均)	%	% 100.000			
合計			16系統								往389.3km 復389.3km	(平均) 389.3km		(平均)			(平均)				100.000			

熊本バス株式会社															R6				
補助 ブロック 名	申請 番号	特例 措置	補助ブロック外乗 入部分及び同一 補助ブロック都道 府県外乗入部分 以外のキロ程の 比率  (チー(リ+ヌ)÷ チ=ブ)	計画実車走行 キロ  ワ	補助対象 経常費用 の見込額  ヘ×ワ以下の額: カ	補助対象系統のキロ当たり経常収益									補助対象系統の 経常収益の見込 額  ノ×ワ以上の額: ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額  カーヨ=タ	補助対象経費 の限度額  カ×9/20=レ	タ又はレのうちい ずれか少ないほう の額  ソ	
						基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間							
						経常収益 ヤ <sup>〃</sup>	実車走行 キロ マ <sup>〃</sup>	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ <sup>〃</sup> ÷マ <sup>〃</sup> =d	経常収益 ヤ <sup>〃</sup>	実車走行 キロ マ <sup>〃</sup>	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ <sup>〃</sup> ÷マ <sup>〃</sup> =e	経常収益 ヤ <sup>〃</sup>	実車走行 キロ マ <sup>〃</sup>	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ <sup>〃</sup> ÷マ <sup>〃</sup> =f					
南九州	1		100.000%	266,062.5km	80,949,515円	141円.55銭	40,276,145円	282,498.8km	142円.57銭	35,185,122円	278,131.3km	126円.50銭	42,918,558円	275,818.5 km	155円.60銭	37,661,146円	43,288,369円	36,427,281円	36,427,281円
	2		100.000%	137,735.0km	41,905,873円	144円.34銭	15,620,664円	102,344.1km	152円.62銭	13,367,530円	100,381.2km	133円.16銭	23,314,956円	158,346.6 km	147円.24銭	19,880,669円	22,025,204円	18,857,642円	18,857,642円
	3		100.000%	103,210.3km	31,401,733円	161円.22銭	17,876,798円	109,782.6km	162円.83銭	14,016,432円	103,164.5km	135円.86銭	19,258,017円	104,103.4 km	184円.98銭	16,639,564円	14,762,169円	14,130,779円	14,130,779円
	4		100.000%	149,395.2km	45,453,489円	164円.49銭	23,319,746円	145,655.3km	160円.10銭	23,538,949円	142,894.3km	164円.72銭	24,052,405円	142,593.1 km	168円.67銭	24,574,016円	20,879,473円	20,454,070円	20,454,070円
	5		100.000%	130,622.4km	39,741,865円	148円.97銭	25,416,276円	162,894.6km	156円.02銭	22,804,072円	163,542.0km	139円.43銭	24,268,863円	160,208.4 km	151円.48銭	19,458,818円	20,283,047円	17,883,839円	17,883,839円
	6		100.000%	187,968.0km	57,189,264円	181円.78銭	31,101,582円	170,319.3km	182円.60銭	31,067,004円	171,093.6km	181円.57銭	30,856,901円	170,292.6 km	181円.19銭	34,168,823円	23,020,441円	25,735,168円	23,020,441円
	7		100.000%	60,696.0km	18,466,758円	146円.17銭	14,377,718円	104,454.0km	137円.64銭	13,316,553円	98,388.0km	135円.34銭	16,189,822円	97,794.0 km	165円.55銭	8,871,934円	9,594,824円	8,310,041円	8,310,041円
	8		100.000%	46,464.0km	14,136,672円	195円.84銭	8,987,197円	45,804.0km	196円.20銭	8,070,737円	46,420.0km	173円.86銭	10,340,849円	47,546.4 km	217円.48銭	9,099,509円	5,037,163円	6,361,502円	5,037,163円
	9		100.000%	68,372.4km	20,802,302円	170円.90銭	11,834,383円	67,535.7km	175円.23銭	9,590,387円	68,573.2km	139円.85銭	13,356,504円	67,583.6 km	197円.62銭	11,684,843円	9,117,459円	9,361,035円	9,117,459円
	10		100.000%	57,555.2km	17,511,169円	183円.72銭	9,692,359円	56,635.2km	171円.13銭	9,747,812円	57,444.8km	169円.69銭	11,965,051円	56,881.0 km	210円.35銭	10,574,041円	6,937,128円	7,880,026円	6,937,128円
	11		100.000%	123,764.4km	37,655,318円	142円.52銭	18,283,015円	136,210.2km	134円.22銭	19,671,097円	137,268.0km	143円.30銭	20,223,557円	134,785.1 km	150円.04銭	17,638,902円	20,016,416円	16,944,893円	16,944,893円
	12		100.000%	85,082.8km	25,886,441円	220円.05銭	24,410,109円	105,812.4km	230円.69銭	22,605,669円	104,441.4km	216円.44銭	22,566,200円	105,932.6 km	213円.02銭	18,722,470円	7,163,971円	11,648,898円	7,163,971円
	13		100.000%	104,917.2km	31,921,058円	221円.19銭	34,050,428円	160,711.8km	211円.87銭	31,357,486円	156,597.4km	200円.24銭	38,826,260円	154,393.4 km	251円.47銭	23,206,635円	8,714,423円	14,364,476円	8,714,423円
	14		100.000%	96,640.0km	29,402,720円	202円.01銭	16,888,293円	80,281.6km	210円.36銭	15,362,741円	81,049.6km	189円.54銭	18,367,726円	89,100.8 km	206円.14銭	19,522,246円	9,880,474円	13,231,224円	9,880,474円
	15		100.000%	51,636.0km	15,710,253円	200円.03銭	10,390,369円	56,513.6km	183円.85銭	9,155,139円	51,441.0km	177円.97銭	12,318,709円	51,697.8 km	238円.28銭	10,328,749円	5,381,504円	7,069,613円	5,381,504円
	16		100.000%	56,987.4km	17,338,416円	139円.23銭	4,378,879円	31,224.3km	140円.23銭	4,394,473円	36,052.8km	121円.88銭	5,654,302円	36,341.4 km	155円.58銭	7,934,355円	9,404,061円	7,802,287円	7,802,287円
	17		100.000%	84,900.0km	25,830,825円	207円.94銭	21,224,805円	91,830.0km	231円.13銭	16,353,081円	88,560.0km	184円.65銭	17,839,832円	85,744.8 km	208円.05銭	17,654,106円	8,176,719円	11,623,871円	8,176,719円
合計				1,812,008.8km	551,303,671円		328,128,766円	1,910,507.5km		299,604,284円	1,885,443.1km		352,318,512円	1,939,163.5km		307,620,826円	243,682,845円	248,086,645円	224,240,114円

熊本バス株式会社																	R6	
補助ブロック名	申請番号	特例措置	ソのうち補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外に係るもの ソ×ヲ=ツ	ソのうち補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外に係るもの ソ×ヲ' =ツ'	計画平均乗車密度が5人未満の路線 ツ×みなし運行回数／①計画運行回数＝ホ	補助対象経費 ナ	計画額 ナ×1/2＝ラ	経常費用から経常収益を控除した額 ニ×ワ－ヨ＝ム	損失額から国庫補助額を控除した額 ムーラ＝ウ	ウの負担者とその負担割合								
										都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要
										負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	
南九州	1		36,427,281円	36,427,281円	23,965,316円	23,965 千円	11,982.5千円	43,288,369円	31,305,869円	11,982,500円	38.3%	19,323,369円	61.7%					
	2		18,857,642円	18,857,642円	10,102,308円	10,102 千円	5,051.0千円	22,025,204円	16,974,204円	5,051,000円	29.8%	11,923,204円	70.2%					
	3		14,130,779円	14,130,779円	9,266,084円	9,266 千円	4,633.0千円	14,762,169円	10,129,169円	4,633,000円	45.7%	5,496,169円	54.3%					
	4		20,454,070円	20,454,070円	15,151,162円	15,151 千円	7,575.5千円	20,879,473円	13,303,973円	7,575,500円	56.9%	5,728,473円	43.1%					
	5		17,883,839円	17,883,839円	11,177,399円	11,177 千円	5,588.5千円	20,283,047円	14,694,547円	5,588,500円	38.0%	9,106,047円	62.0%					
	6		23,020,441円	23,020,441円	19,183,700円	19,183 千円	9,591.5千円	23,020,441円	13,428,941円	9,591,500円	71.4%	3,837,441円	28.6%					
	7		8,310,041円	8,310,041円	5,419,591円	5,419 千円	2,709.5千円	9,594,824円	6,885,324円	2,709,500円	39.4%	4,175,824円	60.6%					
	8		5,037,163円	5,037,163円	4,317,568円	4,317 千円	2,158.5千円	5,037,163円	2,878,663円	2,158,500円	75.0%	720,163円	25.0%					
	9		9,117,459円	9,117,459円	5,946,168円	5,946 千円	2,973.0千円	9,117,459円	6,144,459円	2,973,000円	48.4%	3,171,459円	51.6%					
	10		6,937,128円	6,937,128円	4,839,856円	4,839 千円	2,419.5千円	6,937,128円	4,517,628円	2,419,500円	53.6%	2,098,128円	46.4%					
	11		16,944,893円	16,944,893円	11,111,405円	11,111 千円	5,555.5千円	20,016,416円	14,460,916円	5,555,500円	38.4%	8,905,416円	61.6%					
	12		7,163,971円	7,163,971円	5,223,728円	5,223 千円	2,611.5千円	7,163,971円	4,552,471円	2,611,500円	57.4%	1,940,971円	42.6%					
	13		8,714,423円	8,714,423円	7,614,544円	7,614 千円	3,807.0千円	8,714,423円	4,907,423円	3,807,000円	77.6%	1,100,423円	22.4%					
	14		9,880,474円	9,880,474円	6,714,885円	6,714 千円	3,357.0千円	9,880,474円	6,523,474円	3,357,000円	51.5%	3,166,474円	48.5%					
	15		5,381,504円	5,381,504円	4,484,586円	4,484 千円	2,242.0千円	5,381,504円	3,139,504円	2,242,000円	71.4%	897,504円	28.6%					
	16		7,802,287円	7,802,287円	3,343,837円	3,343 千円	1,671.5千円	9,404,061円	7,732,561円	1,671,500円	21.6%	6,061,061円	78.4%					
	17		8,176,719円	8,176,719円	6,371,469円	6,371 千円	3,185.5千円	8,176,719円	4,991,219円	3,185,500円	63.8%					1,805,719円	36.2%	
合計			224,240,114円	224,240,114円	154,233,606円	154,225 千円	77,112千円	243,682,845円	166,570,345円	77,112,000円	46.3%	87,652,126円	52.6%					

4.（表2） 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	産交バス株式会社	R6
------	----------	----

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間※)の 損益状況	乗合バス事業						R4
	営業収益	612,272千円	営業外収益	139,517千円	経常収益(イ)	751,789千円	
	営業費用	2,941,670千円	営業外費用	13,028千円	経常費用(ロ)	2,954,698千円	
	営業損益	△ 2,329,398千円	営業外損益	126,489千円	経常損益	△ 2,202,909千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	9,747,181.1 km					経常収支率 25.44 %	

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R3
	営業収益	607,401千円	営業外収益	87,948千円	経常収益(イ)	695,349千円	
	営業費用	2,899,692千円	営業外費用	11,791千円	経常費用(ロ)	2,911,483千円	
	営業損益	△ 2,292,291千円	営業外損益	76,157千円	経常損益	△ 2,216,134千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	10,143,891.0 km					経常収支率 23.88 %	

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R2
	営業収益	677,126千円	営業外収益	127,491千円	経常収益(イ')	804,617千円	
	営業費用	2,922,806千円	営業外費用	34,204千円	経常費用(ロ')	2,957,010千円	
	営業損益	△ 2,245,680千円	営業外損益	93,287千円	経常損益	△ 2,152,393千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	10,643,064.5 km					経常収支率 27.21 %	

（補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ'÷ハ''=a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ÷ハ'=b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間) ロ÷ハ=c
南九州	277円.83銭	287円.01銭	303円.13銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3=ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常収益 イ÷ハート
南九州	289円.32銭	314円.57銭	289円.32銭	77円.12銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

産交バス株式会社

補 助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	運 行 系 統 名	運行系統			計 画 運 行 日 数	計 画 運 行 回 数 ( )  ①＝カッコ内	計 画 平 均 乗 車 密 度  ②	計 画 輸 送 量  ①×② ＝③	系統キロ程		地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキロ 程	系統キロ程と地 域公共交通再編 事業を実施する 区域におけるキ ロ程との比率	補助ブロック外 乗入部分のキロ程		同一補助ブロック都道府県 外乗入部分のキロ程	他路線との競合 部分に係るキロ程		他路線との競合 率  ル÷チ	補助ブロック外乗 入部分、同一補 助ブロック都道府 県外乗入部分及 び他路線との競 合部分以外のキ ロ程の比率  (チー(リ+ヌ+ ル))÷チ=ヲ
				起 点	主 な 経 由 地	終 点					チ	オ			リ	ヌ	ル				
南九州	1		健軍・東無田經由 熊本・御船線	桜町 バスターミナル	健軍 東無田入口	御船	366日	2,487.0回 (6.7回)	2.2	14.7人	往20.0km 復20.0km	(平均) 20.0km		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	2		河内經由 熊本・小天線	桜町 バスターミナル	西区役所前 河内亀石	小天温泉	366日	4,239.0回 (11.5回)	3.3	37.9人	往22.5km 復22.5km	(平均) 22.5km		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	3		楠木・大倉經由 熊本・玉名線	桜町 バスターミナル	楠木 木妻駅前 大倉団地入口	玉名駅前	363日	2,049.0回 (5.6回)	3.3	18.4人	往29.1km 復28.2km	(平均) 28.6km		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	4		菊池經由 山鹿・大津線	山鹿 バスセンター	菊池プラザ 翔陽高校入口	肥後大津駅	366日	3,747.0回 (10.2回)	2.4	24.4人	往35.9km 復35.8km	(平均) 35.8km		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	5		労働庁舎・鬼池港経 由本渡・富岡線	本渡 バスセンター	労働庁舎前 鬼池港 市北町役場前	富岡港	366日	3,282.0回 (8.9回)	1.7	15.1人	往33.3km 復33.3km	(平均) 33.3km		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	6		セントラル病院經由 本渡・鬼池線	本渡 バスセンター	大車警察署総合 庁舎前 セントラル病院前	鬼池港	366日	1,830.0回 (5.0回)	1.0	5.0人	往13.6km 復13.6km	(平均) 13.6km		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	7		一町田中央・久玉経 由本渡・牛深線	本渡 バスセンター	新合 一町田中央 久玉	牛深市民病院	366日	3,648.0回 (9.9回)	1.2	11.8人	往55.2km 復55.2km	(平均) 55.2km		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	8		桜山經由 玉名市役所・荒尾線	玉名市役所前	玉名駅前 桜山	バスセンター	366日	4,353.0回 (11.8回)	2.3	27.1人	往20.0km 復19.3km	(平均) 19.6km		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	9		堅志田經由 松橋・砥用線	松橋駅前	松橋産交 堅志田	砥用中央	366日	3,630.0回 (9.9回)	1.5	14.8人	往22.6km 復22.6km	(平均) 22.6km		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	10		日奈久經由 八代・田浦線	八代市役所前	八代工業高校前 日奈久温泉前	道の駅たのうら	366日	2,916.0回 (7.9回)	2.4	18.9人	往26.6km 復26.6km	(平均) 26.6km		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	11		道尻經由 阿蘇環状線	阿蘇医療セン ター	阿蘇駅前 道尻	阿蘇駅前	366日	5,580.0回 (15.2回)	1.1	16.7人	往23.3km 復23.3km	(平均) 23.3km		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	12		テクノ団地經由 熊本・高森線	西部車庫	桜町バスターミナル テクノ団地入口	高森中央	366日	1,098.0回 (3.0回)	6.0	18.0人	往59.6km 復58.6km	(平均) 59.1km		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
合計			12系統								往361.7km 復359.0km	(平均) 360.2km		(平均)		(平均)		(平均)			

産交バス株式会社

R6

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	補助ブロック外乗入 部分及び同一補助ブ ロック都道府県外乗 入部分以外のキロ程 の比率  (チー(リ+ヌ)÷チ=ヲ)	計画実車走行 キロ  ワ	補助対象 経常費用 の見込額  ヘ×ワ以下の額: カ	補助対象系統のキロ当たり経常収益									補助対象系統の 経常収益の見込 額  ノ×ワ以上の額: ヨ	補助対象経常 収 入 から 経 常 収 入 を 控 除 し た 額  カーヨ=タ	補助対象経費 の 限 度 額  カ×9/20=レ	タ又はのうちの いずれか少ないほう の 額  ソ	
						基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間							
						経常収益 ヤ''	実車走行 キロ マ''	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ''÷マ''=d	経常収益 ヤ'	実車走行 キロ マ'	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'÷マ'=e	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ=f					
南九州	1		100.000%	99,480.0km	28,781,553円	127円.05銭	10,948,709円	99,060.0km	110円.52銭	13,434,255円	99,239.0km	135円.37銭	13,364,790円	98,800.0 km	135円.27銭	12,638,934円	16,142,619円	12,951,698円	12,951,698円
	2		100.000%	195,349.2km	56,518,430円	160円.71銭	32,297,952円	191,872.8km	168円.33銭	30,372,456円	193,855.7km	156円.67銭	30,559,212円	194,446.8 km	157円.15銭	31,394,569円	25,123,861円	25,433,293円	25,123,861円
	3		100.000%	117,407.7km	33,968,395円	164円.42銭	20,000,380円	116,668.5km	171円.42銭	19,021,066円	117,694.2km	161円.61銭	18,805,192円	117,350.4 km	160円.24銭	19,304,174円	14,664,221円	15,285,777円	14,664,221円
	4		100.000%	268,659.9km	77,728,682円	99円.77銭	23,814,604円	264,172.4km	90円.14銭	30,336,553円	268,444.8km	113円.00銭	25,750,775円	267,693.1 km	96円.19銭	26,804,198円	50,924,484円	34,977,906円	34,977,906円
	5		100.000%	218,581.2km	63,239,912円	81円.02銭	28,386,509円	305,030.0km	93円.06銭	21,934,453円	306,328.0km	71円.60銭	23,842,042円	304,086.0 km	78円.40銭	17,709,448円	45,530,464円	28,457,960円	28,457,960円
	6		100.000%	49,776.0km	14,401,192円	76円.38銭	9,061,341円	95,446.0km	94円.93銭	6,346,296円	97,500.0km	65円.09銭	6,678,019円	96,603.0 km	69円.12銭	3,801,890円	10,599,302円	6,480,536円	6,480,536円
	7		100.000%	402,739.2km	116,520,505円	61円.50銭	29,743,717円	400,144.8km	74円.33銭	20,644,737円	401,334.0km	51円.44銭	23,465,191円	399,427.2 km	58円.74銭	24,768,460円	91,752,045円	52,434,227円	52,434,227円
	8		100.000%	171,240.9km	49,543,417円	126円.64銭	25,825,269円	181,053.3km	142円.63銭	20,103,074円	171,242.3km	117円.39銭	20,480,458円	170,770.7 km	119円.92銭	21,685,947円	27,857,470円	22,294,537円	22,294,537円
	9		100.000%	166,369.2km	48,133,936円	78円.01銭	13,420,607円	165,976.8km	80円.85銭	12,506,551円	166,324.0km	75円.19銭	12,925,276円	165,699.0 km	78円.00銭	12,978,461円	35,155,475円	21,660,271円	21,660,271円
	10		100.000%	155,131.2km	44,882,558円	74円.30銭	9,312,053円	151,164.0km	61円.60銭	14,501,958円	154,625.8km	93円.78銭	10,355,098円	153,322.4 km	67円.53銭	11,526,248円	33,356,310円	20,197,151円	20,197,151円
	11		100.000%	126,816.0km	36,690,405円	45円.60銭	6,351,823円	143,401.9km	44円.29銭	5,592,727円	138,494.1km	40円.38銭	6,581,661円	126,211.8 km	52円.14銭	5,782,809円	30,907,596円	16,510,682円	16,510,682円
	12		100.000%	129,783.6km	37,548,991円	171円.75銭	30,813,280円	171,210.6km	179円.97銭	27,535,711円	172,213.2km	159円.89銭	26,353,330円	150,232.2 km	175円.41銭	22,290,333円	15,258,658円	16,897,045円	15,258,658円
合計				2,101,334.1km	607,957,976円		239,976,244円	2,285,201.1km		222,329,837円	2,287,295.1km		219,161,044円	2,244,642.6km		210,685,471円	397,272,505円	273,581,083円	271,011,708円

補助ブロック名	申請番号	特例措置	ソのうち補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外に係るもの	ソのうち補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外に係るもの	計画平均乗車密度が5人未満の路線	補助対象経費	計画額	経常費用から経常収益を控除した額	損失額から国庫補助額を控除した額	ウの負担者とその負担割合								
										都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要
										負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	
南九州	1		12,951,698円	12,951,698円	3,866,178円	3,866 千円	1,933.0千円	16,142,619円	14,209,619円	1,933,000円	13.6%	12,276,619円	86.4%					
	2		25,123,861円	25,123,861円	15,292,784円	15,292 千円	7,646.0千円	25,123,861円	17,477,861円	7,646,000円	43.7%	9,831,861円	56.3%					
	3		14,664,221円	14,664,221円	7,855,832円	7,855 千円	3,927.5千円	14,664,221円	10,736,721円	3,927,500円	36.6%	6,809,221円	63.4%					
	4		34,977,906円	34,977,906円	13,716,825円	13,716 千円	6,858.0千円	50,924,484円	44,066,484円	6,858,000円	15.6%	37,208,484円	84.4%					
	5		28,457,960円	28,457,960円	9,592,570円	9,592 千円	4,796.0千円	45,530,464円	40,734,464円	4,796,000円	11.8%	35,938,464円	88.2%					
	6		6,480,536円	6,480,536円	1,296,107円	1,296 千円	648.0千円	10,599,302円	9,951,302円	648,000円	6.5%	9,303,302円	93.5%					
	7		52,434,227円	52,434,227円	10,592,773円	10,592 千円	5,296.0千円	91,752,045円	86,456,045円	5,296,000円	6.1%	81,160,045円	93.9%					
	8		22,294,537円	22,294,537円	9,446,837円	9,446 千円	4,723.0千円	27,857,470円	23,134,470円	4,723,000円	20.4%	18,411,470円	79.6%					
	9		21,660,271円	21,660,271円	4,375,812円	4,375 千円	2,187.5千円	35,155,475円	32,967,975円	2,187,500円	6.6%	30,780,475円	93.4%					
	10		20,197,151円	20,197,151円	7,669,804円	7,669 千円	3,834.5千円	33,356,310円	29,521,810円	3,834,500円	13.0%	25,687,310円	87.0%					
	11		16,510,682円	16,510,682円	3,258,687円	3,258 千円	1,629.0千円	30,907,596円	29,278,596円	1,629,000円	5.6%	27,649,596円	94.4%					
	12		15,258,658円	15,258,658円		15,258 千円	7,629.0千円	15,258,658円	7,629,658円	7,629,000円	100.0%					658円		
合計			271,011,708円	271,011,708円	86,964,209円	102,215 千円	51,107千円	397,272,505円	346,165,005円	51,107,000円	14.8%	295,056,847円	85.2%					

4.（表2） 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	熊本電気鉄道株式会社	R6
------	------------	----

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間※)の 損益状況	乗合バス事業						R4
	営業収益	690,174千円	営業外収益	4,531千円	経常収益(イ)	694,705千円	
	営業費用	918,557千円	営業外費用	9,920千円	経常費用(ロ)	928,477千円	
	営業損益	△ 228,383千円	営業外損益	△ 5,389千円	経常損益	△ 233,772千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	2,396,959.7 km					経常収支率	74.82 %

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R3
	営業収益	647,791千円	営業外収益	3,344千円	経常収益(イ')	651,135千円	
	営業費用	906,985千円	営業外費用	12,859千円	経常費用(ロ')	919,844千円	
	営業損益	△ 259,194千円	営業外損益	△ 9,515千円	経常損益	△ 268,709千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	2,495,300.7 km					経常収支率	70.78 %

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R2
	営業収益	706,032千円	営業外収益	4,312千円	経常収益(イ'')	710,344千円	
	営業費用	922,858千円	営業外費用	12,723千円	経常費用(ロ'')	935,581千円	
	営業損益	△ 216,826千円	営業外損益	△ 8,411千円	経常損益	△ 225,237千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	2,541,129.2 km					経常収支率	75.92 %

（補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ''÷ハ''=a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ'÷ハ'=b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間) ロ÷ハ=c
南九州	368円.17銭	368円.63銭	387円.35銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3=ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
南九州	374円.71銭	314円.57銭	314円.57銭	289円.82銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合															熊本電気鉄道株式会社										R6	
補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	運行 系統名	運行系統			計画運 行日数	計画運行回数 ( )	計画平 均乗車 密度	計画輸 送量	系統キロ程		地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキロ 程		系統キロ程と地 域公共交通再編 事業を実施する 区域におけるキ ロ程との比率		補助ブロック外 乗入部分のキロ程		同一補助ブロック都道府県 外乗入部分のキロ程		他路線との競合 部分に係るキロ程		他路線との競合 率		補助ブロック外乗 入部分、同一補 助ブロック都道府 県外乗入部分及 び他路線との競 合部分以外のキ ロ程の比率  (チー(リ+ヌ+ ル))÷チ=ヌ	
				起 点	主 な 経 由 地	終 点					①=カッコ内	②	①×② =③	チ	オ	オ÷チ=ク	リ	ヌ	ル	ル÷チ						
南九州	1		377新地団地線 (合志市役所)	交通 センター	三軒町 新地団地	合志市役所	363日	1,452.0回 (4.0回)	6.1	24.4人	往17.2km 復17.2km	(平均) 17.2km		(平均)			(平均)		(平均)	往12.3km 復12.3km	(平均) 12.3km	71.511	%	28.488		
合計			1系統								往17.2km 復17.2km	(平均) 17.2km		(平均)			(平均)		(平均)	往12.3km 復12.3km	(平均) 12.3km					

熊本電気鉄道株式会社																	R6		
補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	補助ブロック外乗 入部分及び同一 補助ブロック都道 府県外乗入部分 以外のキロ程の 比率  (チー(リ+ヌ)÷ チ=ヲ)	計画実車走行 キロ  ワ	補助対象 経常費用 の見込額  ヘ×ワ以下の額: 力	(d+e+f)/3=ノ	補助対象系統のキロ当たり経常収益									補助対象系統の 経常収益の見込 額  ノ×ワ以上の額: ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額  カーヨ=タ	補助対象経費 の限度額  カ×9/20=レ	タ又はレのうちい ずれか少ないほう の額  ソ
							基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間						
							経常収益 ヤ''	実車走行 キロ マ''	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ''÷マ''=d	経常収益 ヤ'	実車走行 キロ マ'	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'÷マ'=e	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ=f				
南九州	1		100.000%	49,948.8km	15,712,394円	269円.25銭	13,668,863円	50,103.6km	272円.81銭	12,633,150円	49,811.2km	253円.62銭	13,935,611円	49,536.0 km	281円.32銭	13,448,714円	2,263,680円	7,070,577円	2,263,680円
合計				49,948.8km	15,712,394円		13,668,863円	50,103.6km		12,633,150円	49,811.2km		13,935,611円	49,536.0km		13,448,714円	2,263,680円	7,070,577円	2,263,680円

熊本電気鉄道株式会社																		
補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分、同一補助ブ ロック都道府県外 乗入部分及び他 路線との競合部 分以外に係るも の	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分及び同一補助 ブロック都道府県 外乗入部分以外 に係るもの	計画平均乗車 密度が5人 未満の路線	補助対象経費	計画額	経常費用から 経常収益を控除 した額	損失額から国庫 補助額を控除し た額	ウの負担者とその負担割合								
			ソ×ヲ=ツ	ソ×ヲ' =ツ'	計画平均乗車 密度が5人 未満の路線	ナ	ナ×1/2=ラ	ニ×ワ-ヨ=ム	ム-ラ=ウ	都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要
										負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	
南九州	1		644,877円	2,263,680円		644 千円	322.0千円	5,267,600円	4,945,600円	322,000円	6.5%					4,623,600円	93.5%	
合計			644,877円	2,263,680円		644 千円	322千円	5,267,600円	4,945,600円	322,000円	6.5%					4,623,600円	93.5%	

4. 表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域間幹線系統用)

事業者名	西鉄バス大牟田株式会社	R6
------	-------------	----

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間※)の 損益状況	乗合バス事業						R4
	営業収益	215,424千円	営業外収益	5,541千円	経常収益(イ)	220,965千円	
	営業費用	320,805千円	営業外費用	684千円	経常費用(ロ)	321,489千円	
	営業損益	△ 105,381千円	営業外損益	4,857千円	経常損益	△ 100,524千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	1,106,626.2 km					経常収支率	68.73 %

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R3
	営業収益	209,226千円	営業外収益	2,521千円	経常収益(イ)	211,747千円	
	営業費用	322,079千円	営業外費用	579千円	経常費用(ロ)	322,658千円	
	営業損益	△ 112,853千円	営業外損益	1,942千円	経常損益	△ 110,911千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	1,136,393.4 km					経常収支率	65.62 %

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R2
	営業収益	224,511千円	営業外収益	2,647千円	経常収益(イ')	227,158千円	
	営業費用	323,633千円	営業外費用		経常費用(ロ')	323,633千円	
	営業損益	△ 99,122千円	営業外損益	2,647千円	経常損益	△ 96,475千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	1,193,199.8 km					経常収支率	70.18 %

(補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等)

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ'÷ハ' =a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ÷ハ =b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間) ロ÷ハ=c
南九州	271円.23銭	283円.93銭	290円.51銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3=ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常収益 イ÷ハト
南九州	281円.89銭	314円.57銭	281円.89銭	199円.67銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

西鉄バス大牟田株式会社

R6

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	運行 系統 名	運行系統			計画運 行日数	計画運行回数 ( )  ①＝カッコ内	計画平均乗車 密度  ②	計画輸 送量  ①×② ＝③	系統キロ程		地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキロ 程	系統キロ程と地 域公共交通再編 事業を実施する 区域におけるキロ 程との比率  オ÷チ＝ウ	補助ブロック外 乗入部分のキロ程  リ	同一補助ブロック都道府県 外乗入部分のキロ程  ヌ	他路線との競合 部分に係るキロ程  ル		他路線との競合 率  ル÷チ	補助ブロック外乗 入部分、同一補 助ブロック都道府 県外乗入部分及 び他路線との競 合部分以外のキ ロ程の比率  (チー(リ＋ヌ＋ ル))÷チ＝ヲ
				起点	主な 経由地	終点					チ	オ								
南九州	1		西鉄大牟田営業所 ～大牟田市立病院・ 上町～庄山	西鉄大牟田	大牟田市立病院・ 上町	庄山	366日	2,802.0回 (7.6回)	1.3	9.8人	往10.5km 復10.5km	(平均) 10.5km	(平均)		往10.4km 復10.4km	(平均) 10.4km	(平均)	(平均)	%	%  0.952
	2		西鉄大牟田営業所 ～延命公園動物園 前・大牟田市立病 院・新大牟田駅～ 南関町役場	西鉄大牟田	動物園前・新大牟 田駅	南関町役場	366日	5,048.0回 (13.7回)	2.7	36.9人	往18.8km 復18.8km	(平均) 18.8km	(平均)		往15.1km 復15.1km	(平均) 15.1km	(平均)	(平均)	%	%  19.680
	3		荒尾駅前～右京 町～久福木団地	荒尾駅前	右京町	久福木団地	366日	3,722.0回 (10.1回)	3.8	38.3人	往11.7km 往11.8km	(平均) 11.7km	(平均)		往10.3km 復10.4km	(平均) 10.3km	(平均)	(平均)	%	%  11.965
	4		荒尾駅前～天領 橋・高泉団地～ 三池中町	荒尾駅前	天領橋・高泉団地	三池中町	366日	3,805.0回 (10.3回)	3.8	39.1人	往11.0km 往11.0km	(平均) 11.0km	(平均)		往9.6km 復9.6km	(平均) 9.6km	(平均)	(平均)	%	%  12.727
	合計			4系統								往52.0km 復52.1km	(平均) 52.0km	(平均)		往45.4km 復45.5km	(平均) 45.4km	(平均)	(平均)	

西鉄バス大牟田株式会社

R6

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	補助ブロック外乗 入部分及び同一 補助ブロック都道 府県外乗入部分 以外のキロ程の 比率  (チー(リ+ヌ)÷ チ=ヲ)	計画実車走行 キロ  ワ	補助対象 経常費用 の見込額  ヘ×ワ以下の額: カ	(d+e+f)/3=ノ	補助対象系統のキロ当たり経常収益						補助対象系統の 経常収益の見込 額  ノ×ワ以上の額: ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額  カーヨ=タ	補助対象経費 の限度額  カ×9/20=レ	タ又はレのうち いずれか少ないほう の額  ソ			
							基準期間の前々年度			基準期間の前年度							基準期間		
							経常収益 ヤ"	実車走行 キロ マ"	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ"÷マ"=d	経常収益 ヤ'	実車走行 キロ マ'	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'÷マ'=e					経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ÷マ=f
南九州	1		0.952%	58,312.8km	16,437,795円	93円.68銭	6,375,537円	57,706.5km	110円.48銭	5,684,270円	58,195.2km	97円.67銭	4,230,342円	58,035.6 km	72円.89銭	5,462,743円	10,975,052円	7,397,007円	7,397,007円
	2		19.680%	189,996.8km	53,558,197円	114円.85銭	21,748,086円	184,454.3km	117円.90銭	21,973,307円	185,577.2km	118円.40銭	20,031,418円	185,044.2 km	108円.25銭	21,821,132円	31,737,065円	24,101,188円	24,101,188円
	3		11.965%	87,467.0km	24,656,072円	184円.42銭	21,314,890円	110,223.8km	193円.37銭	19,196,555円	110,589.6km	173円.58銭	16,251,909円	87,219.5 km	186円.33銭	16,130,664円	8,525,408円	11,095,232円	8,525,408円
	4		12.727%	82,654.0km	23,299,336円	176円.38銭	15,182,899円	87,689.8km	173円.14銭	13,925,552円	88,070.4km	158円.11銭	16,314,861円	82,438.4 km	197円.90銭	14,578,512円	8,720,824円	10,484,701円	8,720,824円
合計				418,430.6km	117,951,400円		64,621,412円	440,074.4km		60,779,684円	442,432.4km		56,828,530円	412,737.7 km		57,993,051円	59,958,349円	53,078,128円	48,744,427円

西鉄バス大牟田株式会社

R6

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分、同一補助ブ ロック都道府県外 乗入部分及び他 路線との競合部 分以外に係るもの  ソ×ラ=ツ	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分及び同一補助ブ ロック都道府県外 乗入部分以外に 係るもの  ソ×ヲ' =ツ'	計画平均乗車 密度が5人 未満の路線  ツ×みなし運行回 数÷①計画運行 回数=ホ	補助対象経費  ナ	計画額  ナ×1/2=ラ	経常費用から 経常収益を控除 した額  ニ×ワ-ヨ=ム	損失額から国庫 補助額を控除した 額  ム-ラ=ウ	ウの負担者とその負担割合								
										都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要
										負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	
南九州	1		70,419円	70,419円	9,265円	9 千円	4.5千円	10,975,052円	10,970,552円	4,500円		9,997,552円	91.1%	968,500円	8.8%		福岡県内国庫補助金見込額(国、福岡県)	
	2		4,743,113円	4,743,113円	2,423,488円	2,423 千円	1,211.5千円	31,737,065円	30,525,565円	1,211,500円	4.0%	18,212,565円	59.7%	11,101,500円	36.4%		福岡県内国庫補助金見込額(国、福岡県、南関町、大牟田市)	
	3		1,020,065円	1,020,065円	706,975円	706 千円	353.0千円	8,525,408円	8,172,408円	353,000円	4.3%	2,265,408円	27.7%	5,554,000円	68.0%		福岡県内国庫補助金見込額(国、福岡県、荒尾市、大牟田市)	
	4		1,109,899円	1,109,899円	754,300円	754 千円	377.0千円	8,720,824円	8,343,824円	377,000円	4.5%	2,417,824円	29.0%	5,549,000円	66.5%		福岡県内国庫補助金見込額(国、福岡県、荒尾市、大牟田市)	
合計			6,943,496円	6,943,496円	3,894,028円	3,892 千円	1,946千円	59,958,349円	58,012,349円									

4.（表2） 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	南国交通株式会社	R6
------	----------	----

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間※)の 損益状況	乗合バス事業						R4
	営業収益	2,036,629千円	営業外収益	16,016千円	経常収益(イ)	2,052,645千円	
	営業費用	2,821,745千円	営業外費用	10,050千円	経常費用(ロ)	2,831,795千円	
	営業損益	△ 785,116千円	営業外損益	5,966千円	経常損益	△ 779,150千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	9,397,925.6 km					経常収支率 72.48 %	

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R3
	営業収益	1,731,426千円	営業外収益	11,703千円	経常収益(イ')	1,743,129千円	
	営業費用	2,811,457千円	営業外費用	7,334千円	経常費用(ロ')	2,818,791千円	
	営業損益	△ 1,080,031千円	営業外損益	4,369千円	経常損益	△ 1,075,662千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	8,868,335.9 km					経常収支率 61.83 %	

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R2
	営業収益	1,791,954千円	営業外収益	4,523千円	経常収益(イ'')	1,796,477千円	
	営業費用	2,730,451千円	営業外費用	4,837千円	経常費用(ロ'')	2,735,288千円	
	営業損益	△ 938,497千円	営業外損益	△ 314千円	経常損益	△ 938,811千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	9,203,526.9 km					経常収支率 65.67 %	

（補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等）

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 （基準期間の前々年度） ロ''÷ハ''=a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 （基準期間の前年度） ロ'÷ハ'=b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 （基準期間） ロ÷ハ=c
南九州	297円.19銭	317円.84銭	301円.32銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3=ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
南九州	305円.45銭	314円.57銭	305円.45銭	218円.41銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

南国交通株式会社

補助 ブロック 名	申請 番号	特例 措置	運行 系統名	運行系統			計画運 行日数	計画運行回数 ( )	計画平均 乗車 密度	計画輸 送量	系統キロ程		地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキロ 程	系統キロ程と地 域公共交通再編 事業を実施する 区域におけるキ ロ程との比率	補助ブロック外 乗入部分のキロ程	同一補助ブロック都道府県 外乗入部分のキロ程	他路線との競合 部分に係るキロ程	他路線との競合 率	補助ブロック外乗 入部分、同一補助 ブロック都道府 県外乗入部分及 び他路線との競 合部分以外のキ ロ程の比率					
				起点	主な 経由地	終点					チ	オ								オ÷チ=ク	リ	ヌ	ル	ル÷チ
南九州	1		水俣線(佐潟口・ 水俣車庫線)	佐潟口	出水	水俣車庫	366日	2,802.0回 (7.6回)	2.2	16.7人	往43.0km 復43.0km	(平均) 43.0km	(平均)		(平均)	往33.9km 復33.9km	(平均) 33.9km	(平均)	%	% 21.162				
合計			1系統								往43.0km 復43.0km	(平均) 43.0km	(平均)		(平均)	往33.9km 復33.9km	(平均) 33.9km	(平均)						

南国交通株式会社

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	補助ブロック外乗 入部分及び同一 補助ブロック都道 府県外乗入部分 以外のキロ程の 比率  ( $\text{チー}=(\text{リ}+\text{ヌ})\div\text{チ}=\text{ラ}$ )	計画実車走行 キロ  ワ	補助対象 経常費用 の見込額  $\text{ヘ}\times\text{ワ}$ 以下の額: カ	$(\text{d}+\text{e}+\text{f})/3=\text{ノ}$	補助対象系統のキロ当たり経常収益									補助対象系統の 経常収益の見込 額  $\text{ノ}\times\text{ワ}$ 以上の額: ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額  カーヨ＝タ	補助対象経費 の限度額  カ $\times$ 9/20＝レ	タ又はしのうちい ずれか少ないほう の額  ソ
							基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間						
							経常収益 ヤ'	実車走行 キロ マ'	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'÷マ'＝d	経常収益 ヤ'	実車走行 キロ マ'	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'÷マ'＝e	経常収益 ヤ'	実車走行 キロ マ'	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'÷マ'＝f				
南九州	1		21.162%	240,972.0km	73,604.897円	79円.31銭	18,946,486円	260,107.0km	72円.84銭	18,623,940円	260,838.0km	71円.40銭	24,380,489円	260,150.0 km	93円.71銭	19,111,489円	54,493,408円	33,122,203円	33,122,203円
合計				240,972.0km	73,604.897円		18,946,486円	260,107.0km		18,623,940円	260,838.0km		24,380,489円	260,150.0km		19,111,489円	54,493,408円	33,122,203円	33,122,203円

南国交通株式会社

補 助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分、同一補助ブ ロック都道府県 外乗入部分及び 他路線との競合 部分以外に係るも の  ソ×ラ=ツ	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分及び同一補助 ブロック都道府 県外乗入部分以 外に係るもの  ソ×ラ'=ツ'	計画平均乗車 密度が5人 未満の路線  ツ×みなし運行 回数÷①計画運 行回数=ホ	補助対象経費  ナ	計画額  ナ×1/2=ラ	経常費用から 経常収益を控除 した額  ニ×ワ-ヨ=ム	損失額から国庫 補助額を控除し た額  ム-ラ=ウ	ウの負担者とその負担割合							
										都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担	
										負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合
南九州	1		7,009,320円	7,009,320円	2,766,836円	2,766 千円	1,383.0千円	54,493,408円	53,110,408円	1,383,000円	2.6%	4,523,000円	8.5%	22,002,500円	41.4%	25,201,908円	47.5%
合計			7,009,320円	7,009,320円	2,766,836円	2,766 千円	1,383千円	54,493,408円	53,110,408円	1,383,000円	2.6%	4,523,000円	8.5%	22,002,500円	41.4%	25,201,908円	47.5%

5. (表3)別表1の補助事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

都道府県名	広域行政圏名	市町村名	指定の理由
熊本県	宇城	宇城市 (旧松橋町)	要綱上の宇城広域行政圏の中心市町村は宇土市であるが、宇城市は、平成17年に5町が合併し、旧松橋町はその中心として発展している。 また、総合病院等の医療機関や県立高校及び大型商業施設、バスターミナルがあることから、周辺地域からの乗合バスによる流入人口は他の中心市町村と比較しても遜色がないため、中心市町村に準ずる市町村としたもの。

6. (表4)同一の補助対象系統として取り扱うことを協議会が特に認めた運行系統の範囲について

都道府県名	事業者名	申請番号	主運行系統名	主運行系統			計画運行日数	計画運行回数 ( )	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と同一の補助対象系統として取り扱う系統	計画運行日数	計画運行回数 ( )	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と異なるキロ程	主運行系統と異なる割合	協議会が必要と認める理由
				起点	主な経由地	終点																
熊本県	産交バス(株)	9	堅志田經由松橋・砥用線	松橋駅前	松橋産交堅志田	砥用中央	365 日	3,335.0 回 ( 9.1 回)	1.6	14.5 人	往22.6 Km 復22.6 Km		宇土本町二丁目～松橋駅前	365 日	294.0 回 ( 0.8 回)	1.6	1.2 人	往26.5 Km 復26.5 Km		4.3 km	19.0%	主系統と同様に砥用方面からの通院・通学の目的で利用されていることから、同一系統と判断。

<参考> 基本的な取扱い(主系統と異なる区間のキロ程が10%以内かつ10km以内)として、同一補助対象系統とみなすもの

都道府県名	事業者名	申請番号	主運行系統名	主運行系統			計画運行日数	計画運行回数 ( )	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と同一の補助対象系統として取り扱う系統	計画運行日数	計画運行回数 ( )	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と異なるキロ程	主運行系統と異なる割合
				起点	主な経由地	終点															
熊本県	産交バス(株)	2	河内經由熊本・小天線	桜町バスターミナル	西区役所前河内亀石	小天温泉	366 日	3,030.0 回 ( 8.2 回)	3.3	27.0 人	往22.5 Km 復22.5 Km		小天温泉～天水支所	366 日	1,209.0 回 ( 3.3 回)	3.3	10.8 人	往24.4 Km 復24.4 Km		1.9 km	8.4%
		11	道尻經由阿蘇環状線	阿蘇医療センター	阿蘇駅前道尻	阿蘇駅前	366 日	3,120.0 回 ( 8.5 回)	1.1	9.3 人	往23.3 Km 復23.3 Km		阿蘇医療センター～阿蘇駅前	366 日	2,460.0 回 ( 6.7 回)	1.1	7.3 人	往22.0 Km 復22.0 Km		1.3 km	5.5%
	西鉄バス大牟田(株)	1	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	西鉄大牟田	大牟田市立病院・上町	庄山	366 日	1,920.0 回 ( 5.2 回)	1.3	6.7 人	往10.5 Km 復10.5 Km		延命公園・動物園前	366 日	882.0 回 ( 2.4 回)	1.3	3.1 人	往10.2 Km 復10.2 Km		0.7 km	6.6%
		2	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	西鉄大牟田	動物園前・新大牟田駅	南関町役場	366 日	4,568.0 回 ( 12.4 回)	2.7	33.4 人	往18.8 Km 復18.8 Km		警察署前～文化会館前	366 日	480.0 回 ( 1.3 回)	2.7	3.5 人	往19.0 Km 復19.0 Km		0.5 km	2.6%
		4	荒尾駅前～天領橋・高泉団地～三池中町	荒尾駅	天領橋・高泉団地	三池中町	366 日	3,325.0 回 ( 9.0 回)	3.8	34.2 人	往11.0 Km 復11.0 Km		高泉団地	366 日	480.0 回 ( 1.3 回)	3.8	4.9 人	往9.9 Km 復9.9 Km		1.1 km	10.0%

7. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。  
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号		事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
							増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R3)	収支率 (R4)	収支率 (R6)	収支 改善率	
1	1	熊本バス(株)	直行線	熊本市 嘉島町 御船町 山都町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 御船町 山都町	576 千円	39.08%	48.47%	49.17%	0.70%	R5年10月 ～ R6年9月
2	2	熊本バス(株)	砥用線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町 美里町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町） ・本系統の主要なバス停を乗継拠点と位置付け、各集落から拠点まで、乗合タクシーで乗客を集約し、継続して生産性の向上を図る（美里町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町 美里町	315 千円	38.35%	44.91%	45.64%	0.73%	R5年10月 ～ R6年9月
3	3	熊本バス(株)	辺場・甲佐線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	259 千円	44.70%	56.29%	57.09%	0.80%	R5年10月 ～ R6年9月
4	4	熊本バス(株)	御船・甲佐線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	338 千円	50.66%	52.04%	52.77%	0.73%	R5年10月 ～ R6年9月
5	5	熊本バス(株)	健軍・砥用線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町 美里町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町） ・本系統の主要なバス停を乗継拠点と位置付け、各集落から拠点まで、乗合タクシーで乗客を集約し、継続して生産性の向上を図る（美里町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町 美里町	321 千円	45.88%	47.35%	48.14%	0.79%	R5年10月 ～ R6年9月
6	6	熊本バス(株)	健軍線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	452 千円	59.74%	56.10%	56.87%	0.77%	R5年10月 ～ R6年9月
7	7	熊本バス(株)	健軍・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	159 千円	40.92%	48.32%	49.16%	0.84%	R5年10月 ～ R6年9月
8	8	熊本バス(株)	宇土線	熊本市 嘉島町 宇土市	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 宇土市	142 千円	57.20%	68.12%	69.11%	0.99%	R5年10月 ～ R6年9月

7. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。  
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
						増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R3)	収支率 (R4)	収支率 (R6)	収支 改善率	
9	9 熊本バス(株)	松橋線	熊本市 嘉島町 宇城市	・関係自治体と共同で、乗り方教室等を開催して利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 宇城市	178 千円	43.71%	58.74%	59.58%	0.84%	R5年10月 ～ R6年9月
10	10 熊本バス(株)	画図線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	157 千円	51.43%	61.40%	62.28%	0.88%	R5年10月 ～ R6年9月
11	11 熊本バス(株)	乙女線	熊本市 嘉島町 甲佐町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 甲佐町	247 千円	38.77%	44.23%	44.87%	0.64%	R5年10月 ～ R6年9月
12	12 熊本バス(株)	中病・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室等を開催して利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	282 千円	71.21%	67.99%	69.05%	1.06%	R5年10月 ～ R6年9月
13	13 熊本バス(株)	江津・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	436 千円	65.78%	78.75%	80.09%	1.34%	R5年10月 ～ R6年9月
14	14 熊本バス(株)	セイラ・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	266 千円	60.59%	63.48%	64.37%	0.89%	R5年10月 ～ R6年9月
15	15 熊本バス(株)	城南・志導寺線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室等を開催して利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	164 千円	57.01%	71.04%	72.07%	1.03%	R5年10月 ～ R6年9月
16	16 熊本バス(株)	健軍電停・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	86 千円	33.63%	40.86%	41.34%	0.48%	R5年10月 ～ R6年9月

7. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。  
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号		事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
							増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R3)	収支率 (R4)	収支率 (R6)	収支 改善率	
17	17	熊本バス(株)	田迎・城南線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の病院や大型商業施設（イオンモール熊本）と連携した取り組みを行い、施設に時刻表を掲示することにより利用者の増加を図る ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ・本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る（嘉島町）	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	255 千円	60.75%	66.89%	67.85%	0.96%	R5年10月 ～ R6年9月
18	1	産交バス(株)	健軍・東無田 經由 熊本・御船線	熊本市 御船町 益城町	・大型商業施設（サクラマチ熊本）が実施する各種イベントと連携し、利用促進に向けた取組みを実施する。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 熊本市 御船町 益城町	303 千円	36.58%	37.75%	38.75%	1.00%	R5年10月 ～ R6年9月
19	2	産交バス(株)	河内經由 熊本・小天線	熊本市 玉名市	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・大型商業施設（サクラマチ熊本）が実施する各種イベントと連携し、利用促進に向けた取組みを実施する。 ・沿線の学校へ定期券販売の説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 熊本市 玉名市	593 千円	47.08%	48.63%	49.63%	1.00%	R5年10月 ～ R6年9月
20	3	産交バス(株)	植木・大倉 經由 熊本・玉名線	熊本市 玉名市 玉東町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・大型商業施設（サクラマチ熊本）が実施する各種イベントと連携し、利用促進に向けた取組みを実施する。 ・JR等他の交通機関との接続を維持・強化を行い、利便性の向上を図る。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 熊本市 玉名市 玉東町	356 千円	47.52%	47.89%	48.89%	1.00%	R5年10月 ～ R6年9月
21	4	産交バス(株)	菊池經由 山鹿・大津線	山鹿市 菊池市 大津町	・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 山鹿市 菊池市 大津町	814 千円	29.72%	30.47%	31.47%	1.00%	R5年10月 ～ R6年9月
22	5	産交バス(株)	手野・二江 經由 本渡・富岡線	天草市 苓北町	・高速船や快速バスとの乗り継ぎ時刻表を作成し、バス車内や船内等にて広報を継続して実施する事で、利用促進を図る。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 天草市 苓北町	662 千円	24.95%	24.89%	25.89%	1.00%	R5年10月 ～ R6年9月
23	6	産交バス(株)	労働庁舎經由 本渡・鬼池線	天草市	・フェリーや快速バスとの乗り継ぎ時刻表を作成し、バス車内や船内等にて広報を継続して実施する事で、利用促進を図る。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 天草市	151 千円	22.68%	22.16%	23.16%	1.00%	R5年10月 ～ R6年9月
24	7	産交バス(株)	一町田中央・ 久玉經由 本渡・牛深線	天草市	・世界遺産崎津集落への結節、また、快速バスとの乗り継ぎ時刻表などを作成し、バス車内や船内等にて広報を継続して実施する事で、利用促進を図る。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 天草市	1,224 千円	17.92%	18.72%	19.72%	1.00%	R5年10月 ～ R6年9月

7. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。  
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号		事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
							増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R3)	収支率 (R4)	収支率 (R6)	収支 改善率	
25	8	産交バス(株)	桜山經由 玉名市役所・ 荒尾線	荒尾市 玉名市	・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 荒尾市 玉名市	519 千円	40.90%	38.17%	39.17%	1.00%	R5年10月 ～ R6年9月
26	9	産交バス(株)	堅志田經由 松橋・砥用線	宇土市 宇城市 美里町	・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。 ・乗合タクシー及びJRとの乗継拠点結節の強化及び、目的に沿った利用案内を実施する（美里町、JR）。	産交バス(株) 宇土市 宇城市 美里町	504 千円	25.51%	25.73%	26.73%	1.00%	R5年10月 ～ R6年9月
27	10	産交バス(株)	日奈久經由 八代・田浦線	八代市 芦北町	・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る	産交バス(株) 八代市 芦北町	472 千円	20.92%	21.04%	22.04%	1.00%	R5年10月 ～ R6年9月
28	11	産交バス(株)	道尻經由 阿蘇環状線	阿蘇市	・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 阿蘇市	386 千円	14.07%	16.39%	17.39%	1.00%	R5年10月 ～ R6年9月
29	12	産交バス(株)	テクノ団地 經由 熊本・高森線	熊本市 益城町 西原村 南阿蘇村 高森町	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・大型商業施設（サクラマチ熊本）が実施する各種イベントと連携し、利用促進に向けた取組みを実施する。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 熊本市 益城町 西原村 南阿蘇村 高森町	394 千円	55.71%	57.87%	58.87%	1.00%	R5年10月 ～ R6年9月
30	1	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 （合志市役所）	熊本市 菊陽町 合志市	・関係自治体と共同で、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の戸建て住宅や集合団地等に利用案内（令和4年4月から共通定期券の導入に伴う案内を含む）のポスティング、を行い利用促進を図る。また、沿線の大学、高校を対象に、時刻表や通学定期の案内を学内掲示するとともに、新入生をターゲットに通学定期の案内を配布し、利用促進を行う。 ・バス利用に関する広報・周知活動を関係自治体のHPや広報誌を活用し、一層の利用促進を図る。 ・昨年度、熊本市により実施されたバス・電車無料の日等が継続される可能性もある為、これら公共交通利用促進施策の実施により、幹線系統の利用促進に繋げる。（菊池地域）	熊本電気鉄道(株) 熊本市 菊陽町 合志市	177 (152) 千円	65.51%	76.24%	77.50%	6.18%	R5年10月 ～ R6年9月
31	1	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	荒尾市 (大牟田市)	・春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みなどの長期休暇に、こども50円バスを西鉄グループにおいて実施し、将来のバスユーザーの確保を図る他、保護者の方にも一緒に利用していただき、バス利用の促進を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る（継続） ・西鉄バス公式Twitterを活用し、沿線の催し情報を発信し、バス利用の促進を図る。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R4年度からR6年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株) 大牟田市 荒尾市	337 千円	22.01%	25.09%	27.09%	2.00%	R5年10月 ～ R6年9月

7. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。  
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
						増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R3)	収支率 (R4)	収支率 (R6)	収支 改善率	
32	2西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	南関町(大牟田市)	・2023年3月18日に九州新幹線ダイヤ改正に合わせて、一部の運行時間の見直しを実施。引き続き、九州旅客鉄道(株)や大牟田市と連携し、鉄道接続を考慮した運行時間の見直しを検討し、利用者増を図る。 ・春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みなどの長期休暇に、こども50円バスを西鉄グループにおいて実施し、将来のバスユーザーの確保を図る他、保護者の方にも一緒に利用していただき、バス利用の促進を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る(継続) ・西鉄バス公式Twitterを活用し、沿線の催し情報を発信し、バス利用の促進を図る。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R4年度からR6年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株)大牟田市南関町	1,073 千円	34.71%	37.26%	39.26%	2.00%	R5年10月～ R6年9月
33	3西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～大牟田駅～久福木団地	荒尾市(大牟田市)	・沿線の商業施設と連携し、利用促進に向けたイベントなどを行う。(継続) ・春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みなどの長期休暇に、こども50円バスを西鉄グループにおいて実施し、将来のバスユーザーの確保を図る他、保護者の方にも一緒に利用していただき、バス利用の促進を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る(継続) ・西鉄バス公式Twitterを活用し、沿線の催し情報を発信し、バス利用の促進を図る。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R4年度からR6年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株)大牟田市荒尾市	506 千円	59.64%	64.14%	66.14%	2.00%	R5年10月～ R6年9月
34	4西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～大牟田駅～高泉団地～三池中町	荒尾市(大牟田市)	・沿線の商業施設と連携し、利用促進に向けたイベントなどを行う。(継続) ・春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みなどの長期休暇に、こども50円バスを西鉄グループにおいて実施し、将来のバスユーザーの確保を図る他、保護者の方にも一緒に利用していただき、バス利用の促進を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る(継続) ・西鉄バス公式Twitterを活用し、沿線の催し情報を発信し、バス利用の促進を図る。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R4年度からR6年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株)大牟田市荒尾市	478 千円	59.72%	68.12%	70.12%	2.00%	R5年10月～ R6年9月
35	1南国交通(株)	水俣線(佐潟口・水俣車庫線)	水俣市(出水市)(阿久根市)	・昨年度までに取り組んでいる下記施策を引き続き継続しつつ、新たな需要の模索や運行計画を検討する ①関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る ②検索サイトやグーグルマップへの情報を提供を行っているものについては、HPで周知し利用人員増加を図る ③運賃改定を計画しており、改定による増収を見込む	南国交通(株)水俣市	2,000 千円	14.98%	23.00%	25.20%	2.20%	R5年10月～ R6年9月

## 8. 外客来訪促進計画との整合性

本計画と外国人観光旅客の来訪の促進等による国際観光の振興に関する法律第5条に基づく「外客来訪促進計画」で定める「外国人観光旅客の円滑かつ快適な旅行のための環境の整備方針」との整合をとることで、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統と国際観光の振興との連携を図ることを目的とする。

番号	事業者名	系統名	整備方針	整合をとるための取組み
1 1	熊本バス(株)	直行線	—	
2 2	熊本バス(株)	砥用線	—	
3 3	熊本バス(株)	辺場・甲佐線	—	
4 4	熊本バス(株)	御船・甲佐線	—	
5 5	熊本バス(株)	健軍・砥用線	—	
6 6	熊本バス(株)	健軍線	—	
7 7	熊本バス(株)	健軍・イオン線	—	
8 8	熊本バス(株)	宇土線	—	
9 9	熊本バス(株)	松橋線	—	
10 10	熊本バス(株)	画図線	—	
11 11	熊本バス(株)	乙女線	—	
12 12	熊本バス(株)	中病・イオン線	—	
13 13	熊本バス(株)	江津・イオン線	—	
14 14	熊本バス(株)	セイラ・イオン線	—	
15 15	熊本バス(株)	城南・志導寺線	—	
16 16	熊本バス(株)	健軍電停・イオン線	—	
17 17	熊本バス(株)	田迎・城南線	—	
18 1	産交バス(株)	健軍・東無田経由 熊本・御船線	—	
19 2	産交バス(株)	河内経由 熊本・小天線	—	
20 3	産交バス(株)	植木・大倉経由 熊本・玉名線	—	
21 4	産交バス(株)	菊池経由 山鹿・大津線	—	
22 5	産交バス(株)	手野・二江経由 本渡・富岡線	—	
23 6	産交バス(株)	労働庁舎経由 本渡・鬼池線	—	
24 7	産交バス(株)	一町田中央・久玉経由 本渡・牛深線	—	

番号	事業者名	系統名	整備方針	整合をとるための取組み
25 8	産交バス(株)	桜山経由 玉名市役所・荒尾線	—	
26 9	産交バス(株)	堅志田経由 松橋・砥用線	—	
27 10	産交バス(株)	日奈久経由 八代・田浦線	—	
28 11	産交バス(株)	道尻経由 阿蘇環状線	—	
29 12	産交バス(株)	テクノ団地経由 熊本・高森線	—	
30 1	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	—	
31 1	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町 ～庄山	—	
32 2	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大 牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	—	
33 3	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～大牟田駅～久福木団地	—	
34 4	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～大牟田駅～高泉団地～三 池中町	—	
35 1	南国交通(株)	水俣線 (佐潟口・水俣車庫線)	—	

9. 車両の取得に係る目的・必要性

番号	取得 年度	事業者名	運行系統名	目的・必要性
1 1	H31	産交バス(株)	河内経由 熊本・小天線 植木・大倉経由 熊本・玉名線 桜山経由 玉名市役所・荒尾線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
2 2	H31	産交バス(株)	河内経由 熊本・小天線 植木・大倉経由 熊本・玉名線 桜山経由 玉名市役所・荒尾線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
3 3	H31	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港経由本渡・富岡線 セントラル病院経由本渡・鬼池線 一町田中央・久玉経由本渡・牛深線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
4 4	H31	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港経由本渡・富岡線 セントラル病院経由本渡・鬼池線 一町田中央・久玉経由本渡・牛深線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
5 5	H31	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港経由本渡・富岡線 セントラル病院経由本渡・鬼池線 一町田中央・久玉経由本渡・牛深線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
6 6	R4	産交バス(株)	菊池経由山鹿・大津線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
7 7	R4	産交バス(株)	菊池経由山鹿・大津線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
8 1	R5	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線（合志市役所）	当該系統を運行する車両の中には、車齢20年を超えるものもあり、安全性や移動の円滑化の観点から、計画的なノンステップバス車両への更新が必要となっている。
9 2	R6	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線（合志市役所）	当該系統を運行する車両の中には、車齢20年を超えるものもあり、安全性や移動の円滑化の観点から、計画的なノンステップバス車両への更新が必要となっている。

10. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

新規車両の取得により、利便性の向上及び移動の円滑化を図り、運行系統の現状の輸送量を維持することを、本計画における定量的な目標とする。  
取得車両及び車両が運行する系統ごとの目標及び効果については、次のとおりである。

番号	取得 年度	事業者名	運行系統名	1日当たり輸送量		効 果
				R4年度 実績	R6年度 目標値	
11	H31	産交バス(株)	河内経由 熊本・小天線	38.2 人	37.9 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
			植木・大倉経由熊本・玉名線	18.4 人	18.4 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
			桜山経由玉名市役所・荒尾線	27.3 人	27.1 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
22	H31	産交バス(株)	河内経由 熊本・小天線	38.2 人	37.9 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
			植木・大倉経由熊本・玉名線	18.4 人	18.4 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
			桜山経由玉名市役所・荒尾線	27.3 人	27.1 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
33	H31	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港経由本渡・富岡線	22.5 人	15.1 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
			労働庁舎経由本渡・鬼池線	10.2 人	15.0 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
			一町田中央・久玉経由本渡・牛深線	11.8 人	15.0 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
44	H31	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港経由本渡・富岡線	22.5 人	15.1 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
			労働庁舎経由本渡・鬼池線	10.2 人	15.0 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
			一町田中央・久玉経由本渡・牛深線	11.8 人	15.0 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
55	H31	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港経由本渡・富岡線	22.5 人	15.1 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
			労働庁舎経由本渡・鬼池線	10.2 人	15.0 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
			一町田中央・久玉経由本渡・牛深線	11.8 人	15.0 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
66	R4	産交バス(株)	菊池経由山鹿・大津線	24.4 人	24.4 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
77	R4	産交バス(株)	菊池経由山鹿・大津線	24.4 人	24.4 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
81	R5	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	24.4 人	24.4 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
92	R6	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	24.4 人	24.4 人	R4年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。

1 1. (表5) 車両の取得計画の概要

令和6年度

都道府県 (市区町村)	バス事業者等名	補助対象車両数	車両減価償却費等に要する 国庫補助額(千円)
熊本県	産交バス(株)	初年度 車両減価償却 0	初年度 車両減価償却 0
		初年度 車両購入金融費用 0	初年度 車両購入金融費用 0
		2年目以降 車両減価償却 7	2年目以降 車両減価償却 6,125
		2年目以降 車両購入金融費用 7	2年目以降 車両購入金融費用 93
		車両数 計 7	計画額 計 6,218
熊本県	熊本電気鉄道(株)	初年度 車両減価償却 1	初年度 車両減価償却 2,000
		初年度 車両購入金融費用 1	初年度 車両購入金融費用 93
		2年目以降 車両減価償却 1	2年目以降 車両減価償却 2,300
		2年目以降 車両購入金融費用 1	2年目以降 車両購入金融費用 119
		車両数 計 2	計画額 計 4,512
合 計		9	10,730

12.（表6） 車両の取得を行う事業者

事業者名	産交バス株式会社
------	----------

1. 車両取得の概要

2年目以降(令和 6 年度)

補助ブロック名	申請番号	確保維持路線名称又は区間	確保維持費国庫補助金申請番号	
			当該年度	初年度
南九州	1	河内經由熊本・小矢線 植木・大倉經由熊本・玉名線 桜山經由玉名市役所・荒尾線	2,3,7	2,3,4,5,6,11
南九州	2	河内經由熊本・小矢線 植木・大倉經由熊本・玉名線 桜山經由玉名市役所・荒尾線	2,3,7	2,3,4,5,6,11
南九州	3	労働庁舎・鬼池港經由本渡・富岡線 セントラル病院經由本渡・鬼池線 一町田中央・久玉經由本渡・牛深線	5,6,7	8,9,10
南九州	4	労働庁舎・鬼池港經由本渡・富岡線 セントラル病院經由本渡・鬼池線 一町田中央・久玉經由本渡・牛深線	5,6,7	8,9,10
南九州	5	労働庁舎・鬼池港經由本渡・富岡線 セントラル病院經由本渡・鬼池線 一町田中央・久玉經由本渡・牛深線	5,6,7	8,9,10
南九州	6	菊池經由山鹿・大津線	3	3
南九州	7	菊池經由山鹿・大津線	3	3

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定額法
-----

申請番号	補助対象限度額 (円) 初年度への額＝ナ	残存価額(円) 前年度フ(2年目のみ)の額＝ラ	普通償却限度額 (円) (定率法) ラ×(0.5or0.4)＝ム (定額法)ナ×0.2＝ム	特別償却額(円) ウ	償却限度額(円) ム＋ウ＝ノ	事業者償却額 (円) オ	ノとオのうち少ない方の額(円) ク	償却期間(月) ヤ	補助対象経費 ク×ヤ÷12(月)＝マ (最終年度)ク＝マ	計画額(千円) マ×1/2＝ケ	* 残存価格 (円) ラ－マ＝フ
1	15,000,000	1,250,000	1,250,000	0	1,250,000	3,404,536	1,250,000	5	1,250,000 円	625.0	0
2	15,000,000	1,250,000	1,250,000	0	1,250,000	3,404,536	1,250,000	5	1,250,000 円	625.0	0
3	15,000,000	1,250,000	1,250,000	0	1,250,000	3,404,536	1,250,000	5	1,250,000 円	625.0	0
4	15,000,000	1,250,000	1,250,000	0	1,250,000	3,404,536	1,250,000	5	1,250,000 円	625.0	0
5	15,000,000	1,250,000	1,250,000	0	1,250,000	3,404,536	1,250,000	5	1,250,000 円	625.0	0
6	15,000,000	10,500,000	3,000,000	0	3,000,000	3,233,656	3,000,000	12	3,000,000 円	1,500.0	7,500,000
7	15,000,000	10,500,000	3,000,000	0	3,000,000	3,233,656	3,000,000	12	3,000,000 円	1,500.0	7,500,000
計	105,000,000	27,250,000	12,250,000	0	12,250,000	23,489,992	12,250,000		12,250 千円	6,125	15,000,000

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等
------

申請番号	金融費用補助対象額(円) ナの額以内＝コ	償還期間 (月)	今年度償還回数		借入利率(%) 年利 エ	エと2.5%のうち低い方の率(%) テ	補助対象経費 ア		計画額(千円) ア×1/2＝サ
			(自)	(至)					
1	15,000,000	5	56	60	0.85%	0.85%	4,561 円		2.2
2	15,000,000	5	56	60	0.85%	0.85%	4,561 円		2.2
3	15,000,000	5	56	60	0.85%	0.85%	4,561 円		2.2
4	15,000,000	5	56	60	0.85%	0.85%	4,561 円		2.2
5	15,000,000	5	56	60	0.85%	0.85%	4,561 円		2.2
6	15,000,000	12	19	30	0.85%	0.85%	82,861 円		41.4
7	15,000,000	12	19	30	0.85%	0.85%	82,861 円		41.4
計	105,000,000						188 千円		93

【所要経費】

補助対象経費(千円) マ＋ア	計画額(千円) ケ＋サ
12,438	6,218

【負担者とその負担割合】

補助ブロック名	申請番号	負担者とその負担割合										
		都道府県			市区町村			その他の者			事業者自己負担	
		負担額	負担割合		負担額	負担割合		負担額	負担割合		負担額	負担割合
南九州	1	627,200 円	5.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %		2,150,136 円	17.3 %
	2	627,200 円	5.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %		2,150,136 円	17.3 %
	3	627,200 円	5.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %		2,150,136 円	17.3 %
	4	627,200 円	5.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %		2,150,136 円	17.3 %
	5	627,200 円	5.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %		2,150,136 円	17.3 %
	6	1,541,500 円	12.4 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %		150,756 円	1.2 %
	7	1,541,500 円	12.4 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %		150,756 円	1.2 %
合計		6,219,000 円	50.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %		11,052,192 円	88.9 %

1 2. （表6） 車両の取得を行う事業者

事業者名	熊本電気鉄道株式会社
------	------------

1. 車両取得の概要

初年度(令和6年度)

補助ブロック名	申請番号	確保維持路線名称又は区間	確保維持費国庫補助金申請番号	車両の種別			乗車定員(人)	車両の長さ(m)	購入等予定年月	購入等の種別 (現金、割賦、リース)
南九州	2	新地団地線	2	低床	スロープ付き	標準仕様	71	10.45	R7 2 1	割賦

【購入車両減価償却費】  
○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)

定率法

申請番号	実費購入予定費(円)*消費税を除く				実費購入予定費合計額から備忘価格を控除した額(円)	本と限度額のうち少ない方の額(円)	普通償却限度額 (定率法) ヘ×(0.5or0.4)=ト (定額法)ヘ×0.2=ト	特別償却額(円)	償却限度額(円)	事業者償却額(円)	ヌとルのうち少ない方の額(円)	償却期間(月)	補助対象経費 ヲ×ワ÷12(月)=カ	計画額(千円) カ×1/2=コ	* 残存価格(円) ヘ-カ=タ
	車両価格 イ	附属品価格 ロ	改造費 ハ	合計 イ+ロ+ハ=ニ											
0															
2	47,900,000	8,170,400		56,070,400	56,070,399	15,000,000	6,000,000		6,000,000	22,428,160	6,000,000	8	4,000,000 円	2,000.0	11,000,000
計	47,900,000	8,170,400	0	56,070,400	56,070,399	15,000,000	6,000,000	0	6,000,000	22,428,160	6,000,000		4,000 千円	2,000	11,000,000

【車両購入金融費用】  
○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等

申請番号	金融費用補助対象額(円) への額以内	償還期間(月)	借入利率(%) 年利 レ	レと2.5%のうち低い方の率(%) ロ	補助対象経費 ツ	計画額(千円) ツ×1/2=ネ
0						
2	15,000,000	8	2.00%	2.00%	187,699 円	93.8
計	15,000,000				188 千円	93

【所要経費】

補助対象経費(千円)	計画額(千円)
カ+ツ	コ+ネ
4,188	2,093

【負担者とその負担割合】

補助 ブロック 名	申請 番号	負担者とその負担割合								「その他の者」の 具体的な概要
		都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		
		負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	
0	0	円	0 %	円	0 %	円	0 %	円	0 %	
	2	円	0 %	円	0 %	円	0 %	円	0 %	
合計		0 円	#DIV/0! %	0 円	%	0 円	%	0 円	%	

2年目以降(令和6年度)

補助ブロック名	申請番号	確保維持路線名称又は区間	確保維持費国庫補助金申請番号	
			当該年度	初年度
南九州	1	新地団地線	1	5

【購入車両減価償却費】  
○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定率法

申請番号	補助対象限度額(円) 初年度への額=ナ	残存価額(円) 前年度7(2年目のみ)の額=ウ	普通償却限度額 (定率法) ラ×(0.5or0.4)=ム (定額法)7×0.2=ム	特別償却額(円)	償却限度額(円)	事業者償却額(円)	ノとオのうち少ない方の額(円)	償却期間(月)	補助対象経費 ク×ヤ÷12(月)=マ (最終年度)ク=マ	計画額(千円) マ×1/2=ケ	* 残存価格(円) ラ-マ=フ
1	15,000,000	11,500,000	4,600,000	0	4,600,000	5,728,800	4,600,000	12	4,600,000 円	2,300.0	6,900,000
計	15,000,000	11,500,000	4,600,000	0	4,600,000	5,728,800	4,600,000		4,600 千円	2,300	6,900,000

【車両購入金融費用】  
○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等

申請番号	金融費用補助対象額(円) ナの額以内=コ	償還期間(月)	今年度償還回数		借入利率(%) 年利 エ	エと2.5%のうち低い方の率(%) テ	補助対象経費 ア	計画額(千円) ア×1/2=サ
			(自)	(至)				
1	15,000,000	12	8	19	2.00%	2.00%	239,723 円	119.8
						0.00%	円	0.0
計	15,000,000						239 千円	119

【所要経費】

補助対象経費(千円)	計画額(千円)
マ+ア	ケ+サ
4,839	2,419

【負担者とその負担割合】

補助 ブロック 名	申請 番号	負担者とその負担割合								「その他の者」の 具体的概要
		都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		
		負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	
南九州	1	円	#DIV/0! %	円	0 %	円	0 %	757000 円	15.6 %	
	0	円	#DIV/0! %	円	0 %	円	0 %	円	0 %	
合計		0 円	0 %	0 円	0 %	0 円	0 %	757000 円	0 %	

### 13. 協議会の開催状況と主な議論

地域ブロック名	日時	該当地域ブロック	市町村	主な議論
県北地域ブロック 合同部会	令和5年5月31日	菊池	菊池市、合志市、大津町、菊陽町	原案のとおり承認
		鹿本	山鹿市	
		玉名	玉名市、荒尾市、玉東町、和水町、南関町、長洲町	
		阿蘇	阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村	
県南地域ブロック 合同部会	令和5年6月1日	八代	八代市、氷川町	原案のとおり承認
		水俣・芦北	水俣市、芦北町、津奈木町	
		球磨	人吉市、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村	
天草地域ブロック 部会	令和5年6月6日	天草	天草市、上天草市、苓北町	原案のとおり承認
県央地域ブロック 合同部会	令和5年6月14日	熊本	熊本市	原案のとおり承認
		宇城	宇城市、宇土市、美里町	
		上益城	山都町、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町	

1 4 . 協議会メンバーの構成（熊本県地域公共交通協議会）

国・市町村	1	九州運輸局	
	2	九州運輸局熊本運輸支局	
	3	熊本地域ブロック部会（熊本市）	部会長代理
	4	宇城地域ブロック部会（宇城市）	部会長代理
	5	玉名地域ブロック部会（玉名市）	部会長代理
	6	鹿本地域ブロック部会（山鹿市）	部会長代理
	7	菊池地域ブロック部会（菊池市）	部会長代理
	8	阿蘇地域ブロック部会（阿蘇市）	部会長代理
	9	上益城地域ブロック部会（山都町）	部会長代理
	10	八代地域ブロック部会（八代市）	部会長代理
	11	水俣・芦北地域ブロック部会（水俣市）	部会長代理
	12	球磨地域ブロック部会（人吉市）	部会長代理
	13	天草地域ブロック部会（天草市）	部会長代理
関係公共交通事業者等	14	九州旅客鉄道株式会社熊本支社	
	15	肥薩おれんじ鉄道株式会社	
	16	くま川鉄道株式会社	
	17	南阿蘇鉄道株式会社	
	18	熊本電気鉄道株式会社	
	19	熊本市交通局	
	20	九州産交バス株式会社	
	21	産交バス株式会社	
	22	熊本電気鉄道株式会社	
	23	熊本バス株式会社	
	24	熊本都市バス株式会社	
	25	熊本都市バス株式会社共同経営推進室	
	26	一般社団法人熊本県バス協会	
	27	一般社団法人熊本県タクシー協会	
関係道路管理者	28	熊本河川国道事務所	
	29	熊本県土木部道路都市局道路保全課	
関係公安委員会	30	熊本県警察本部交通部交通規制課	
地域公共交通の利用者	31	公益社団法人熊本県老人クラブ連合会	
	32	熊本県PTA連合会	
学識経験者	33	学識経験者	副会長
その他の作成主体が必要と認める者	34	公益社団法人熊本県観光連盟	
	35	社会福祉法人熊本県身体障害者福祉団体連合会	
熊本県	36	企画振興部交通政策・統計局	会 長